

# 令和3年 低層住宅の 労働災害発生状況報告書

令和4年 6月

一般社団法人住宅生産団体連合会



## はじめに

(一社)住宅生産団体連合会の構成団体の会員企業 277 社 (昨年比-7 社) から、労働災害データ及び関係資料をご提供いただき、令和 3 年の低層住宅の労働災害発生状況を把握することが出来ました。ここにご協力を賜りました関係各位に、深く感謝を申し上げます。

厚労省より令和 3 年度の確定値が公表され、それによりますと全労働災害による死亡者数は 867 人 (前年比 65 人・8.1%増) となり、また、新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害による死亡者数 (令和 3 年 89 人) を除くと 778 人 (前年比 6 人・0.8%減) となりました。建設業においては、死亡者数 (288 人 前年比 30 人・11.6%増)、死傷者数 (16,079 人 前年比 1,102 人・7.4%増) は昨年を上回っております。

さて、ご協力いただいたアンケート調査の結果、(一社)住宅生産団体連合会の構成団体の会員企業の令和 3 年の労働災害発生件数は昨年と同じく 388 件となりました。数年来の増加傾向を抑える形になりましたが、これを更に減少に転じるべく、より効果的な取組みをお願い致します。なお、1,000 棟当りの災害発生件数では、新築工事は令和 2 年の 2.69 件から 3.04 件と増加しました。一方、全体の災害発生件数は増改築・リフォーム工事と解体工事の災害発生件数が減少したことから、0.99 件から 0.93 件と減少しました。

災害の型別発生状況では、「墜転落」によるものが、昨年より約 2 ポイント増加し、全体の 47.7%を占めています。また、二番目に多い「切れこすれ」と併せて「転倒」で 27.0%を占めており、増加する高齢な技能者に配慮した職場づくりが、急務と考えられます。作業別では「建方」と「内部造作」で昨年より約 7 ポイント増加し、全体の 47.4%を占める結果となり、職種別にみて「大工」の被災が職種全体の 44.3%を占め、一番になっている事に繋がっています。住宅建築における主力職種である「大工」の災害を減少させるため、きめ細やかな取組みが必要です。

令和元年 4 月から、今後の建設業の基盤となる「建設キャリアアップシステム」が本格的に稼働し、就業実績の蓄積を通じて工事の品質向上、現場の効率化を図るとともに、これらの情報が技能者の適正な能力評価と処遇の実現に活用されます。

建設業が大きく変わろうとしているこの時期に、一昨年から続く世界的な新型コロナ

ナウウイルス蔓延に端を発するウッドショック、また今年2月にはウクライナ紛争による燃料をはじめとする各種物価の高騰により、建設業にとっての困難はこれからも続くであろうとされています。

当連合会では、「災害ゼロ」「危険ゼロ」「安全先取り」の現場の実現を目指して、昨年に引き続き職場・現場での働き方を見直し、DX（デジタルトランスフォーメーション）活用推進による生産性の向上を図る活動や、建災防の新ヒヤリハットの導入の検討などを関係部門と連携して推進して参ります。関係団体ならびに会員各位の一層のご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

令和4年6月  
一般社団法人 住宅生産団体連合会  
工事CS・安全委員会

# 1. 労働災害発生状況の調査について

(一社)住宅生産団体連合会の会員団体である下表団体所属の会員企業に対して、休業4日以上の労働災害発生状況について、アンケート調査を実施した（『令和3年低層住宅の労働災害発生状況報告書』47～49頁参照）。令和3年のアンケート報告企業総数は277社であり、過去8年間（平成26～令和3年）を含めた団体別報告企業数推移は表1-1の通りである。

表1-1 アンケート報告企業数推移

所属団体	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
プレハブ建築協会	18社	15社	19社	16社	14社	14社	15社	15社
日本ツーバイフォー建築協会	213社	208社	219社	112社	104社	104社	115社	96社
日本木造住宅産業協会	133社	114社	116社	125社	98社	135社	105社	86社
全国住宅産業協会	101社	94社	71社	71社	56社	30社	42社	32社
全国中小建築工事業団体連合会	73社	92社	52社	66社	32社	0社		
JBN全国工務店協会						3社	5社	46社
輸入住宅産業協会	6社	6社	2社	5社	7社	3社	2社	2社
計	544社	529社	479社	395社	311社	289社	284社	277社

団体別、規模別、新築、増改築・リフォーム、解体工事別の労災件数は、表1-2の通りである。

表1-2 アンケート全体 団体別、規模別の労働災害発生件数（休業日数4日以上）

休業日数4日以上の労災件数	令和3年																		無記入	
	全体									新築工事			増改築・リフォーム工事			解体工事				
	回答社数	完工棟数	割合%	新築件数	増改築・リフォーム工事件数	解体工事件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数		
	277	415,633	100.0	118,596	285,409	11,628	388	100.0	0.93	361	100.0	3.04	19	100.0	0.07	6	100.0	0.52	2	
団体別	プレハブ建築協会	15	282,572	68.0	53,503	224,985	4,084	162	41.8	0.57	146	40.4	2.73	12	63.2	0.05	4	66.7	0.98	0
	日本ツーバイフォー建築協会	96	50,295	12.1	10,823	38,640	832	40	10.3	0.80	34	9.4	3.14	4	21.1	0.10	0	0.0	0.00	2
	日本木造住宅産業協会	86	63,741	15.3	45,340	12,094	6,307	161	41.5	2.53	156	43.2	3.44	3	15.8	0.25	2	33.3	0.32	0
	全国住宅産業協会	32	11,573	2.8	6,980	4,513	80	17	4.4	1.47	17	4.7	2.44	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	JBN全国工務店協会	46	4,925	1.2	692	4,127	106	3	0.8	0.61	3	0.8	4.34	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	輸入住宅産業協会	2	2,527	0.6	1,258	1,050	219	5	1.3	1.98	5	1.4	3.97	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0
規模別	3000棟以上/年	18	361,842	87.1	91,469	260,468	9,905	298	76.8	0.82	276	76.5	3.02	15	78.9	0.06	6	100.0	0.61	1
	1000～2999棟/年	11	20,467	4.9	9,740	9,914	813	28	7.2	1.37	27	7.5	2.77	1	5.3	0.10	0	0.0	0.00	0
	500～999棟/年	24	14,309	3.4	7,059	7,111	139	26	6.7	1.82	26	7.2	3.68	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	100～499棟/年	59	14,521	3.5	7,602	6,428	491	31	8.0	2.13	27	7.5	3.55	3	15.8	0.47	0	0.0	0.00	1
	50～99棟/年	30	2,161	0.5	1,222	772	167	2	0.5	0.93	2	0.6	1.64	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	49棟以下/年	135	2,333	0.6	1,504	716	113	3	0.8	1.29	3	0.8	1.99	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0
工法別	木造在来軸組						183	47.2		178	49.3		3	15.8		2	33.3		0	
	ツーバイフォー						42	10.8		39	10.8		3	15.8		0	0.0		0	
	木質プレハブ						45	11.6		43	11.9		1	5.3		1	16.7		0	
	鉄骨在来						0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	鉄骨プレハブ						113	29.1		99	27.4		11	57.9		3	50.0		0	
	コンクリート在来						0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	コンクリートプレハブ						2	0.5		2	0.6		0	0.0		0	0.0		0	
	その他						1	0.3		0	0.0		1	5.3		0	0.0		0	
不明						2	0.5		0	0.0		0	0.0		0	0.0		2		

※(全体の1000棟当たり災害件数) = (全体の労働災害件数) ÷ (新築棟数+増改築・リフォーム棟数+解体工事数) × 1000

※(工事種別の1000棟当たり災害件数) = (各工事の労働災害件数) ÷ (各工事の棟数) × 1000

※規模別の規模は、新築、増改築・リフォーム、解体工事の総和



## 2. 完工棟数と労働災害発生件数の推移

令和3年の調査概要は、調査企業数 277 社、完工棟数（新築）118,596 棟、（増改築・リフォーム）285,409 棟、（解体）11,628 棟、労働災害件数は 388 件である。（表 2-1 参照）

労働災害発生件数（絶対数）（図 2-1）を見ると、全体では完工棟数が前年比 106%の増加の中、前年と同数となった。特徴として新築工事で完工棟数が前年比 90%の減少にも拘らず 102%の増加、解体工事で完工棟数が前年比 133%の増加の中、43%の大幅な減少となった。また、労働災害発生件数（1000 棟当たり）（図 2-2）を見ると、全体で前年比 94%と減少し、解体工事での削減効果が大きく寄与したものの、新築工事では 3 件を超え、同工事での増加が危惧される形となった。

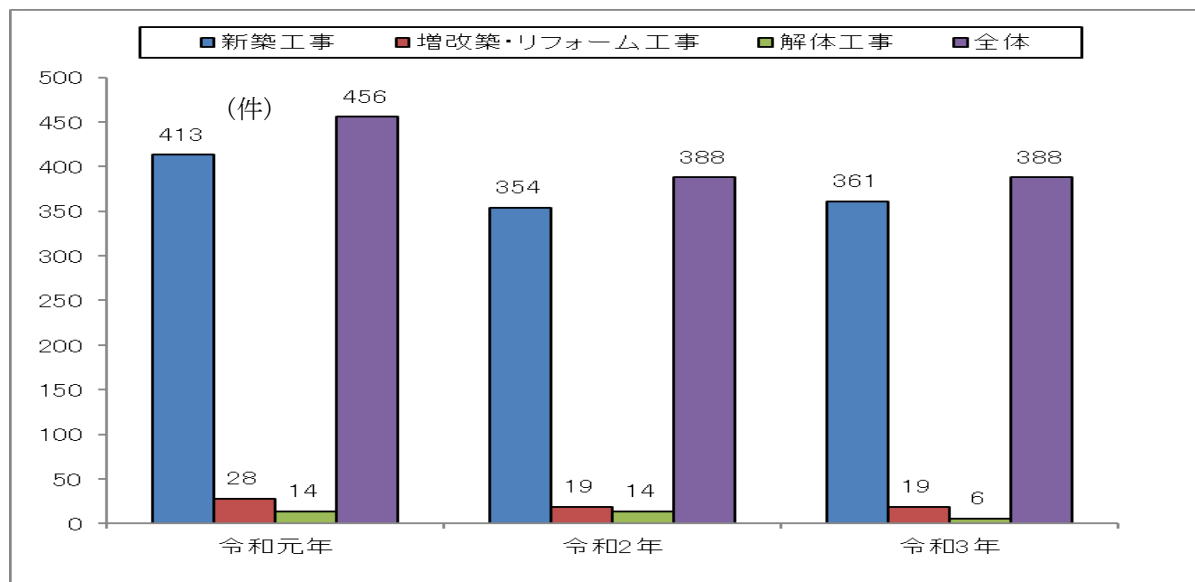
働き方改革が進む中、労働災害を防止し、安全な現場環境を作ることは重要なポイントであり、労働安全衛生関係法令の遵守はもとより、リスクアセスメントに基づく対策を確実に効果的に実施し、現場に従事する関係者全員が危険認識、安全意識を落とし込む活動を継続的に実践していくことが必要である。

表 2-1 調査企業数・完工棟数・労働災害件数推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
調査企業数	544社	529社	479社	395社	311社	289社	284社	277社	
完工棟数	新築	166,807	159,284	203,207	146,112	138,977	140,144	131,437	118,596
	増改築・リフォーム	375,027	315,261	370,901	303,155	378,576	355,026	250,085	285,409
	解体	14,579	14,609	11,061	8,612	15,470	9,402	8,774	11,628
災害件数	522	428	487	374	392	456	388	388	

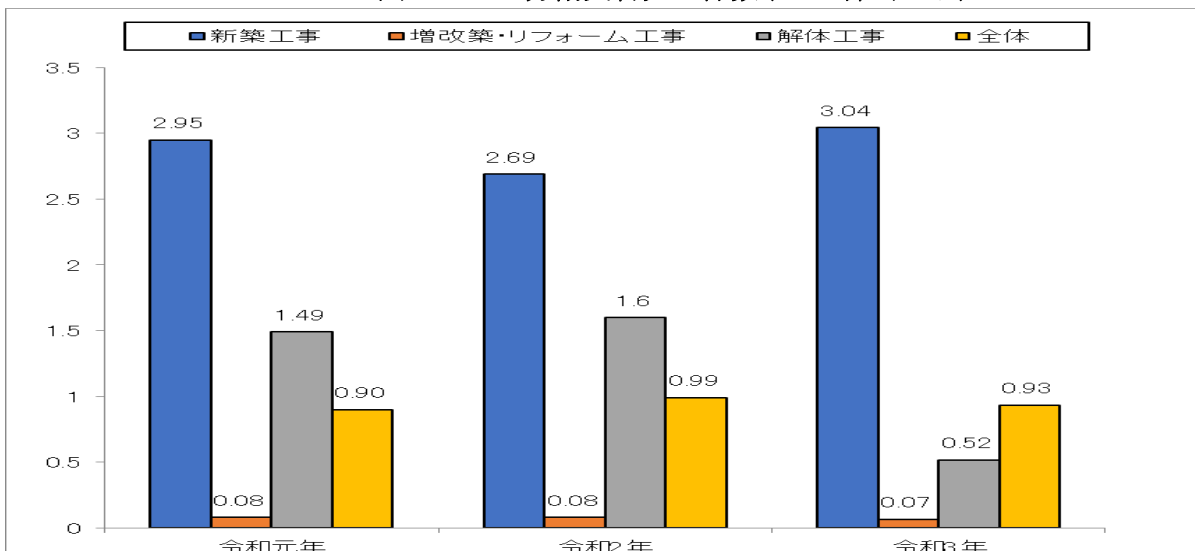
注) 災害件数は休業 4 日以上の災害で、一人親方、事業主等を含む。

図 2-1 労働災害発生件数(絶対数)



※全体には工事種不明の発生件数を含む。工事種不明件数は元年が 1 件、2 年が 1 件、3 年が 2 件

図 2-2 労働災害発生件数(1000 棟当たり)



※(労働災害件数) ÷ (新築棟数+増改築・リフォーム棟数+解体工事数) × 1000

労働災害発生状況を企業規模別に見るため、アンケート報告企業を年間完工棟数に応じて表2-2のように分類した。

表2-2 規模別企業数推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
年間完工3000棟以上	17社	23社	21社	18社	19社	25社	17社	18社
1000～2999棟	22社	16社	25社	17社	14社	9社	15社	11社
500～999	30社	28社	22社	22社	14社	20社	17社	24社
100～499	88社	95社	104社	80社	64社	68社	66社	59社
50～99	77社	60社	64社	55社	35社	39社	31社	30社
49棟以下	306社	299社	243社	203社	165社	128社	138社	135社
規模不明・その他	4社	8社	0社	0社	0社	0社	0社	0社
計	544社	529社	479社	395社	311社	289社	284社	277社

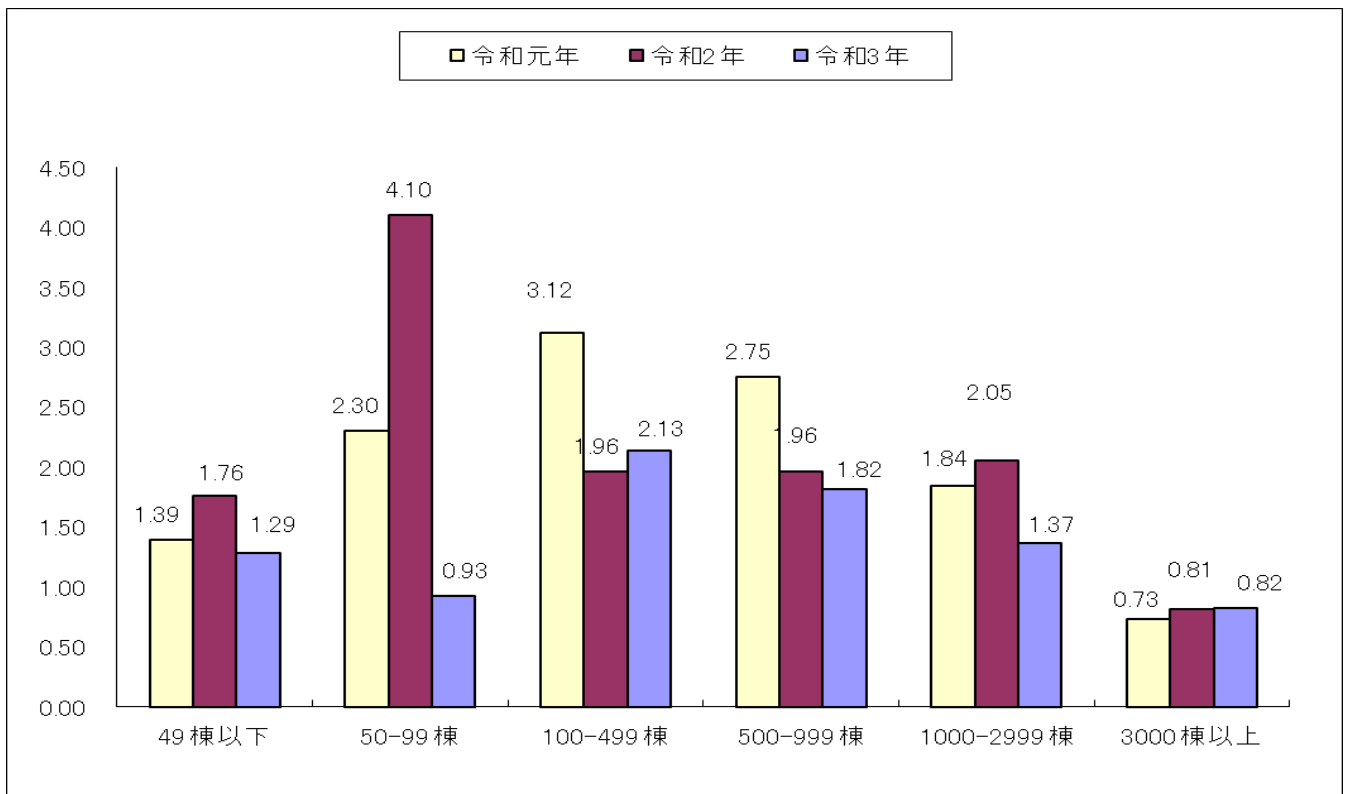
※年間完工棟数は、新築、増改築・リフォーム、解体工事の合計

令和3年の1,000棟当たりの規模別労働災害発生件数は、図2-3のとおりである。全体としては、ほぼ横ばいの状況となっている。

『100-499棟』のレンジは、令和2年に発生件数が大幅に減少したが、本年は若干の増加となった。令和2年に大幅な増加となった『50-99棟』のレンジは発生件数が四分の一に減少し、他のレンジと比較しても半数程度の発生件数となった。増加したのは『100-499棟』と『3000棟以上』のレンジでその他では減少している。「99棟以下・3000棟以上」のレンジとその中間にある100-2999棟の各レンジとの「差」が生じている。

当該調査における完工棟数の推移は表2-3のとおりである。(完工棟数は新築工事の減少を増改築・リフォーム工事の増加が補う形で増加となっている)『3000棟以上』の労働災害発生件数は、調査回答者数では18社で全体277社の6.5%程度にもかかわらず、完工棟数は全体の87%を占めている。『100-499棟』の完工棟数は全体の3.5%程度だが、労働災害発生率で7.9%、調査回答社数では59社で全体277社の21.3%を占めていることから全体の災害数を減らすうえで重要な位置を依然占めている。1,000棟当たりの労働災害発生件数が大幅に減少した『50-99棟』では、労働災害発生率は0.5%となっている。

図2-3 規模別労働災害発生件数(1000棟当たり)



※(各棟数エリアの労働災害発生件数)÷[各棟数エリアの(新築棟数+増改築・リフォーム棟数+解体工事数)]×1000



表 2 - 3 規模別完工棟数 及び 労働災害発生件数推移

	完工棟数						災害発生件数						
	令和元年	令和2年	令和3年				令和元年	令和2年	令和3年				
			新築工事	増改築・リフォーム工事	解体工事	合計			新築工事	増改築・リフォーム工事	解体工事	無記入	合計
年間完工3000棟以上	455,802	332,894	91,469	260,468	9,905	361,842	335	269	276	15	6	1	298
1000~2999棟	15,770	24,929	9,740	9,914	813	20,467	29	51	27	1	0	0	28
500~999	13,807	11,715	7,059	7,111	139	14,309	38	23	26	0	0	0	26
100~499	14,434	16,286	7,602	6,428	491	14,521	45	32	27	3	0	1	31
50~99	2,607	2,196	1,222	772	167	2,161	6	9	2	0	0	0	2
49棟以下	2,152	2,276	1,504	716	113	2,333	3	4	3	0	0	0	3
規模不明・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	504,572	390,296	118,596	285,409	11,628	415,633	456	388	361	19	6	2	388

※規模分けは、新築、増改築・リフォーム、解体工事の合計による。

図 2 - 4 規模別完工棟数比率  
令和元年

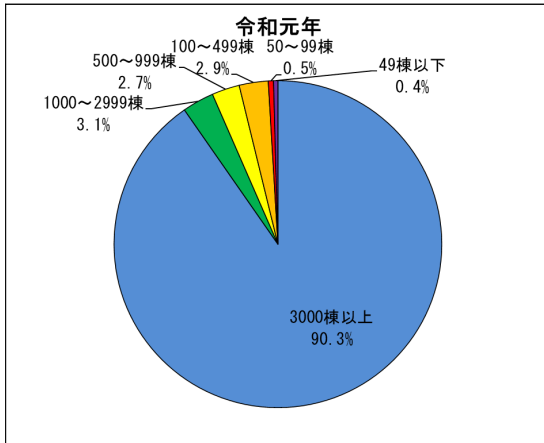
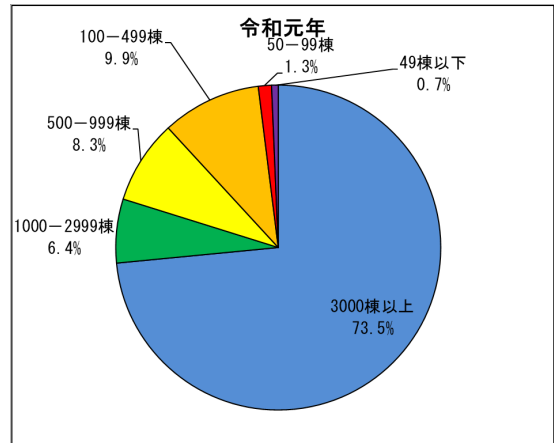
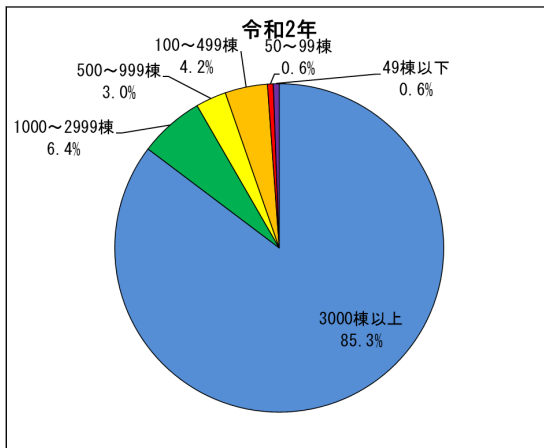


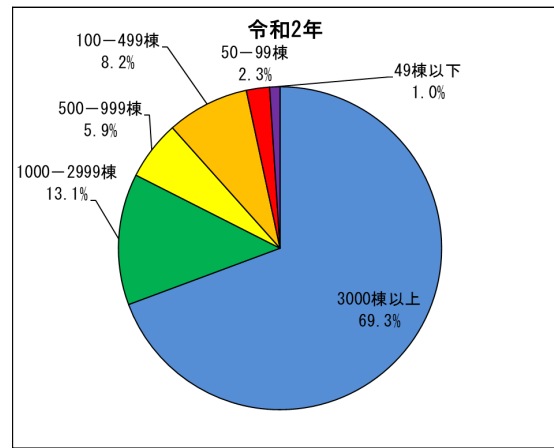
図 2 - 5 規模別労働災害発生率  
令和元年



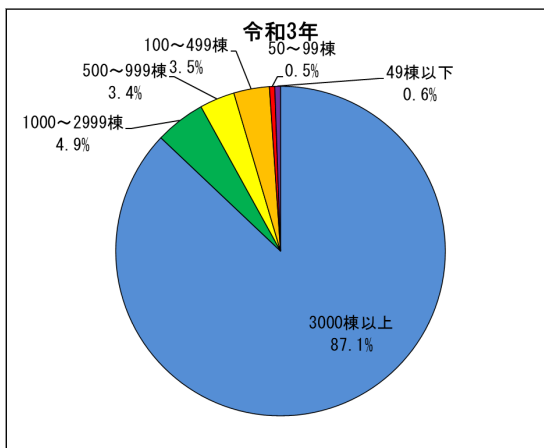
令和 2 年



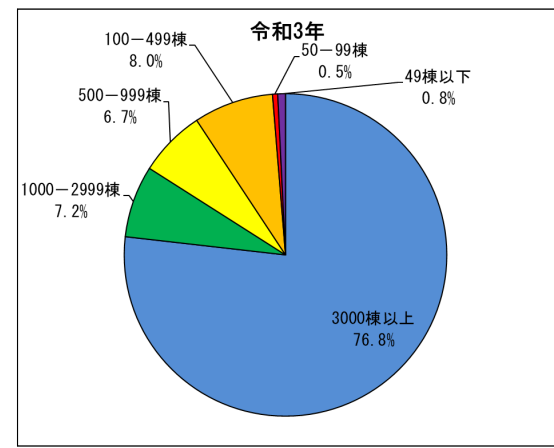
令和 2 年



令和 3 年



令和 3 年



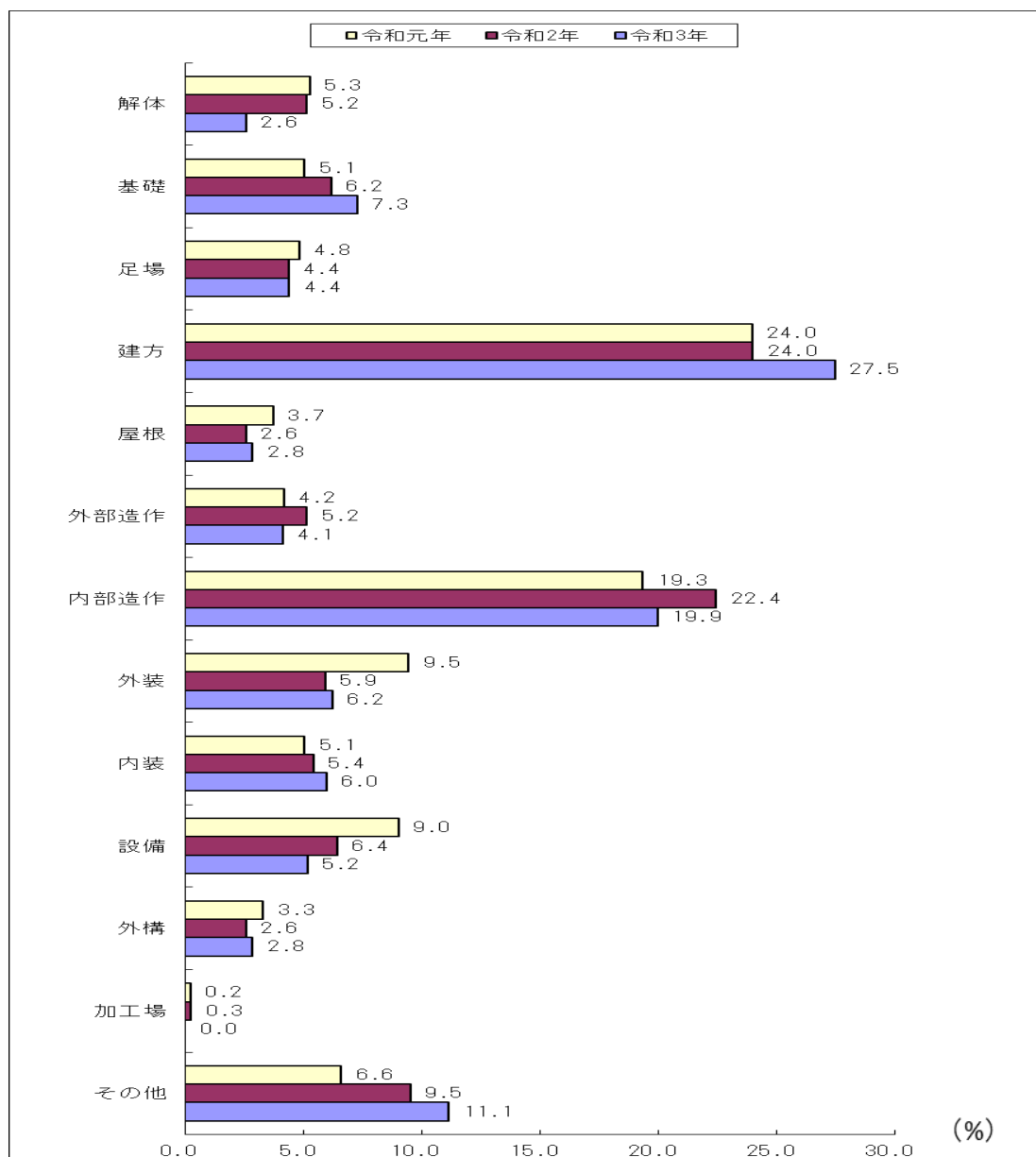
### 3. 作業分類別労働災害発生状況

令和3年においては、建方工事の災害発生比率の上昇が見られ、内部造作工事においては減少が見られるがこの2つは他の作業に比べて高い比率を占める状況が続いており、その傾向は近年と変わりがない。

建方作業は足場上といった高所や床を伏せる前の大きな開口部がある状況での作業となるため、建物躯体と足場との離隔距離が必要以上に離れないよう、必要に応じて安全ネットや仮床等を使用して墜転落に繋がる開口部をなくすとともに、墜落制止用器具の準備だけでなく、その使用を徹底して墜転落の防止に努めなければならない。

内部造作は脚立が使われることが多いが、手軽に扱えるということと高所作業ではないという油断から不安全行動を誘発しやすい環境にあるため、天板上での作業禁止はもちろん、昇降における正しい使い方等を遵守させなければならない。電動工具については定期点検の履行はもちろん、日々の作業開始前・作業終了後の点検並びに作業手順の周知・理解を徹底させることが肝要である。

図3 作業分類別労働災害発生状況



※ その他の発生内訳：防水、柱状改良、搬入、地盤改良、交通整理、工事監理など。

#### 4. 職種分類別労働災害発生状況

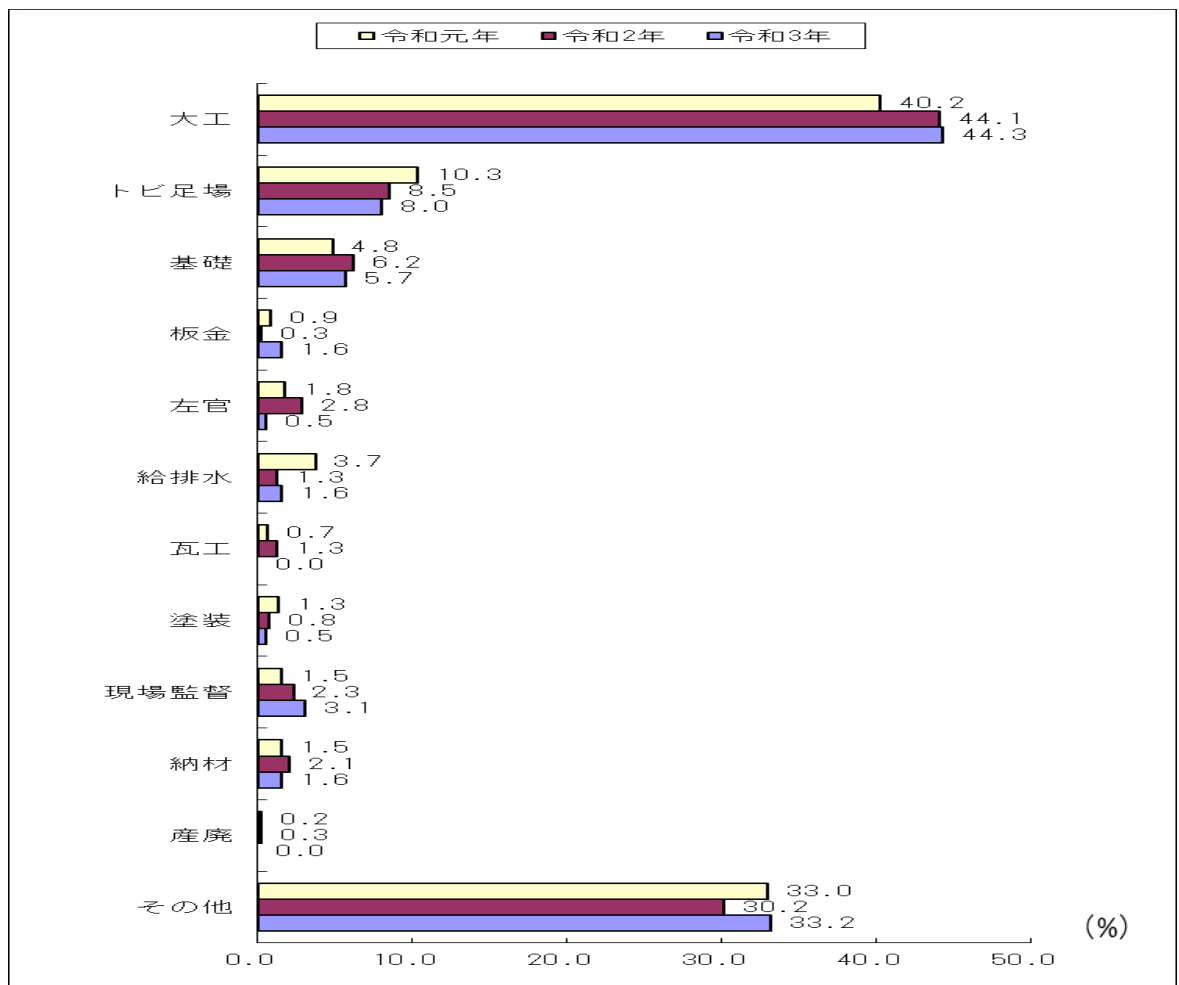
職種分類別労働災害発生状況を見ると、概ね例年と同じ傾向である。現場での作業時間が最も多い「大工」が、例年同様に全職種中4割以上の高い割合である。「大工」においては、職人の高齢化が進んでいる職種であり、近年災害発生も増加の傾向にある。

住宅の小規模現場の災害発生頻度の最も多い墜転落災害の中で、災害リスクのある職種としては、脚立を多く利用する職種である「大工」や、足場等高所での作業が必要な「とび足場」といった職種があげられる。その上、様々な電動工具や鋭利な刃物を使用する作業が多い「大工」では、疲労等で気を抜いた際の工具による災害も後を絶たない状況である。

また、屋外での作業が多い職種である「とび足場」「基礎」や、閉所で高温多湿な環境で作業をする「大工」「給排水」等といった職種では、近年、熱中症の発症が顕著になっている。熱中症については、全ての職種で発症リスクになるので、天候を考慮した具体的な事前対策を強力に推進していく必要がある。

「その他」の職種では、例年同様に全体の3割を超える災害が発生している。「その他」の職種の中では、作業環境が不安定で現場での安全管理が難しい「解体」や「リフォーム」作業での労働災害や、一現場に長時間滞在しての作業を行うことが少なく、一日に多くの現場を巡回する職種で、現場毎の作業環境に不慣れゆえの労働災害が発生している。また、資材の納入時の災害も多く、車両からの荷下ろし時や現場での荷揚げの際に、無理な態勢で行う作業では災害につながっているケースがみられる。各現場の現場管理者は、足場掛状況の確認や、資材搬入時の安全通路や効率的な資材置き場の確保等に配慮するとともに、現場の整理整頓等の基本的な現場管理を徹底する必要がある。

図4 職種分類別労働災害発生状況



※その他の職種：組立工、荷揚げ工、補修、オペレーター、地盤改良など。

## 5. 原因・型別労働災害発生状況

原因・型別労働災害発生状況は、過去3年において大きな変化は無く、依然として「墜転落」(47.7%)が多く発生しており、続いて「工具(切れ・こすれ)」(16.2%)、「転倒」(10.8%)の順となっている。

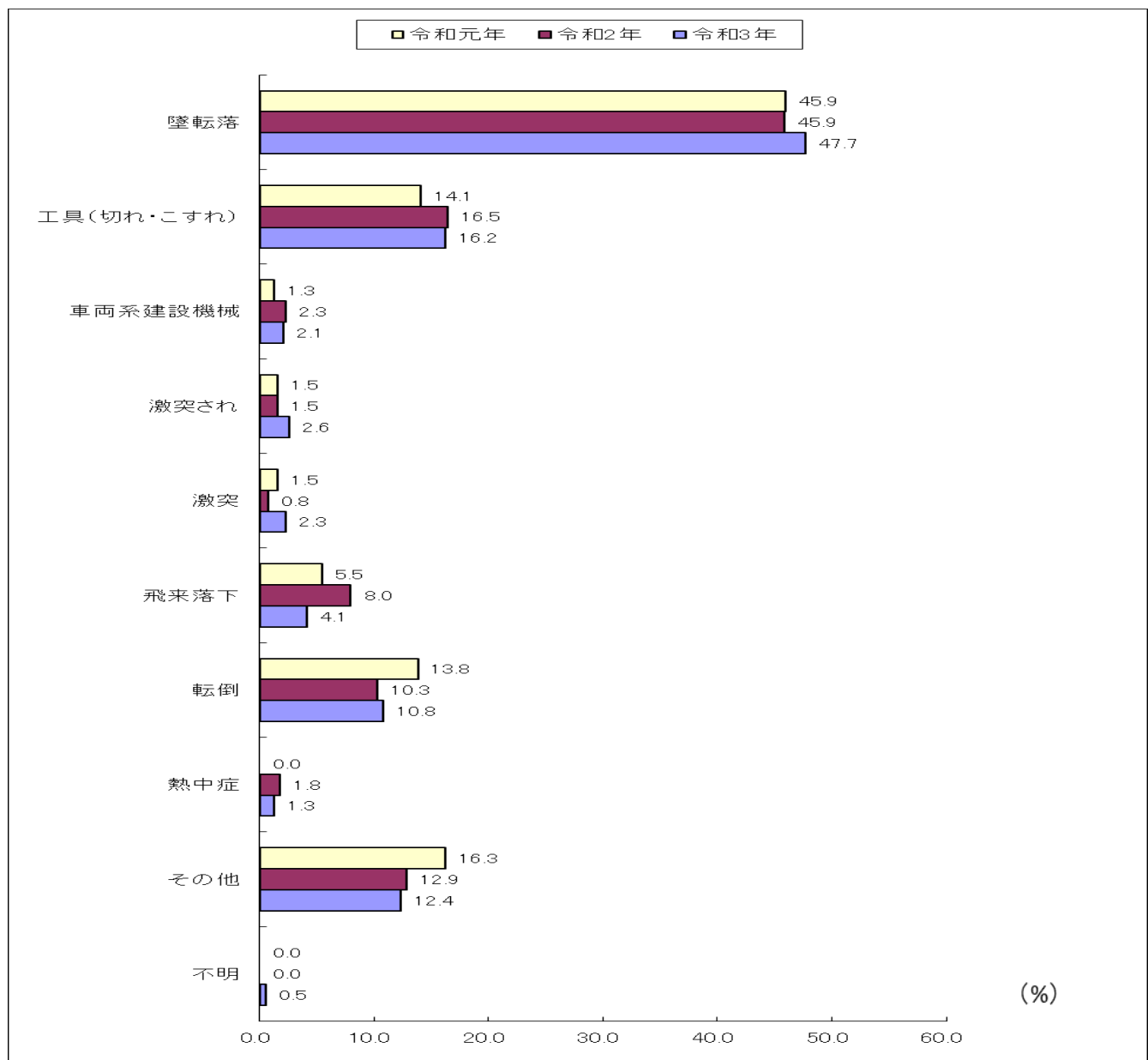
墜転落の内訳では、屋根からの転落は大きく減少したが、一方で「足場」からの転落が一昨年以上に増加していることが気になる点である。胴ベルト安全帯からハーネス型に移り変わった状況ではあるが、高所からの墜転落災害は重大災害に繋がる危険性が非常に高いので、引続き作業には墜落制止器具を着用させ、確実に「使用する」様指導しなければならない。又、「脚立」・「脚立足場」からの災害も全体の約1/3を占めている。繰り返しの教育、職長による作業への目配りが重要となる。

工具による「切れ・こすれ」の内訳では、「丸鋸」、「釘打ち機」、「カッター」の順に事故が多く発生しており、合計で全体の半数以上(52.3%)を占めているが、その中において「釘打ち機」による事故は減少している。「回転工具(丸鋸・グラインダ)」においてはキックバック防止機構付き工具の導入の検討、「カッター」による事故においては耐切削手袋の着用等を検討することも必要である。

車両系建設機械では、「ドラグショベル」の事故は徐々に減少しているが、「トラック」、「クレーン」、「ユニック」による事故は増加傾向にあり、引き続き注視していく必要がある。

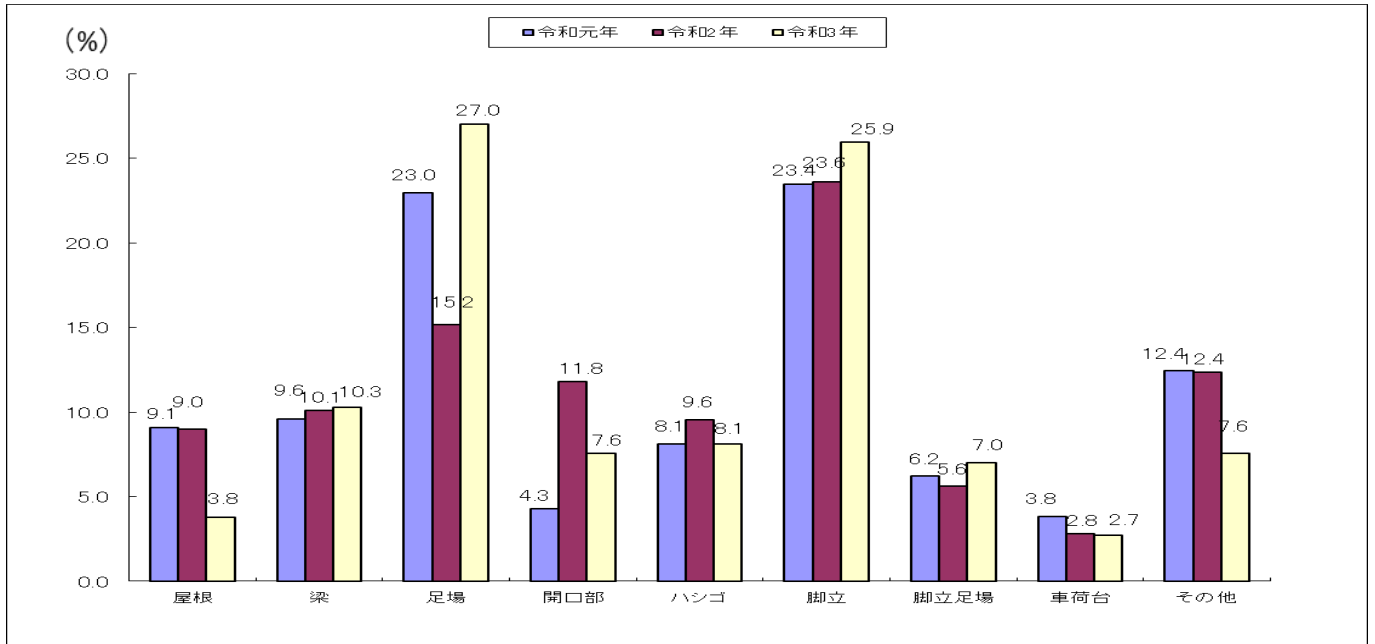
昨年より、近年増加傾向にある「熱中症」を更に掲げる事とした。今年度も引き続き熱順化による対応や、WBGT値に基づいた効果的な熱中症対策が求められる。

図5 原因・型別労働災害発生状況



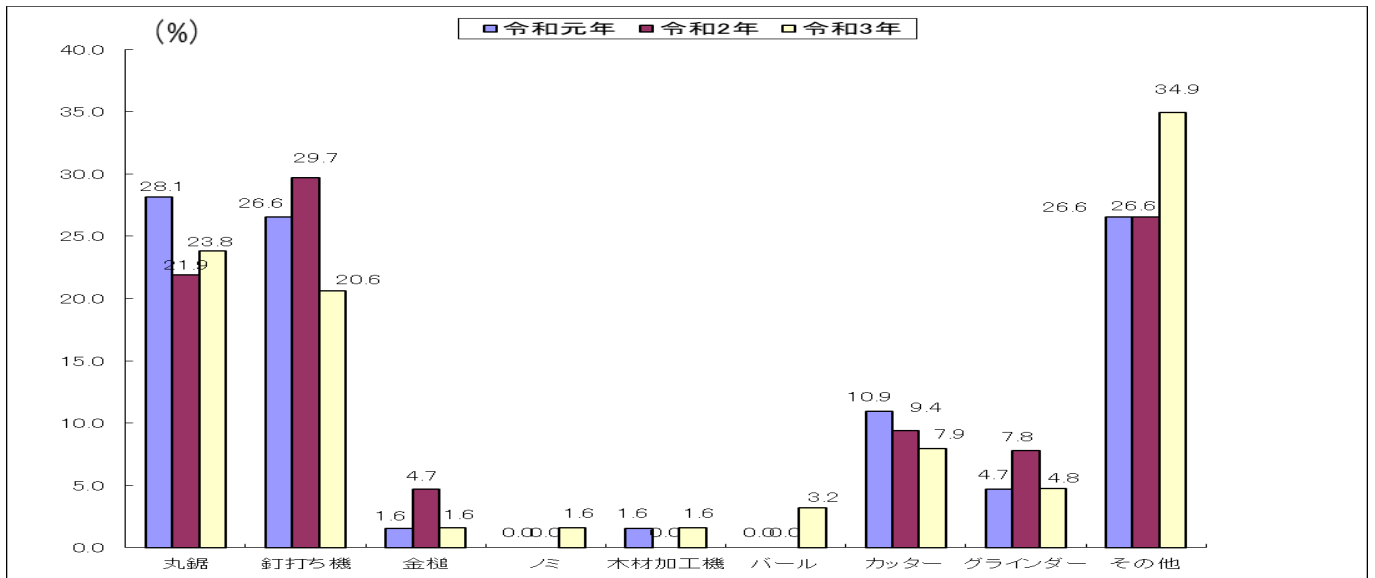
※その他の発生内訳：崩壊・倒壊、はさまれ・巻き込まれなど。

図 5-1 原因・型別労災発生状況（墜転落の内訳）



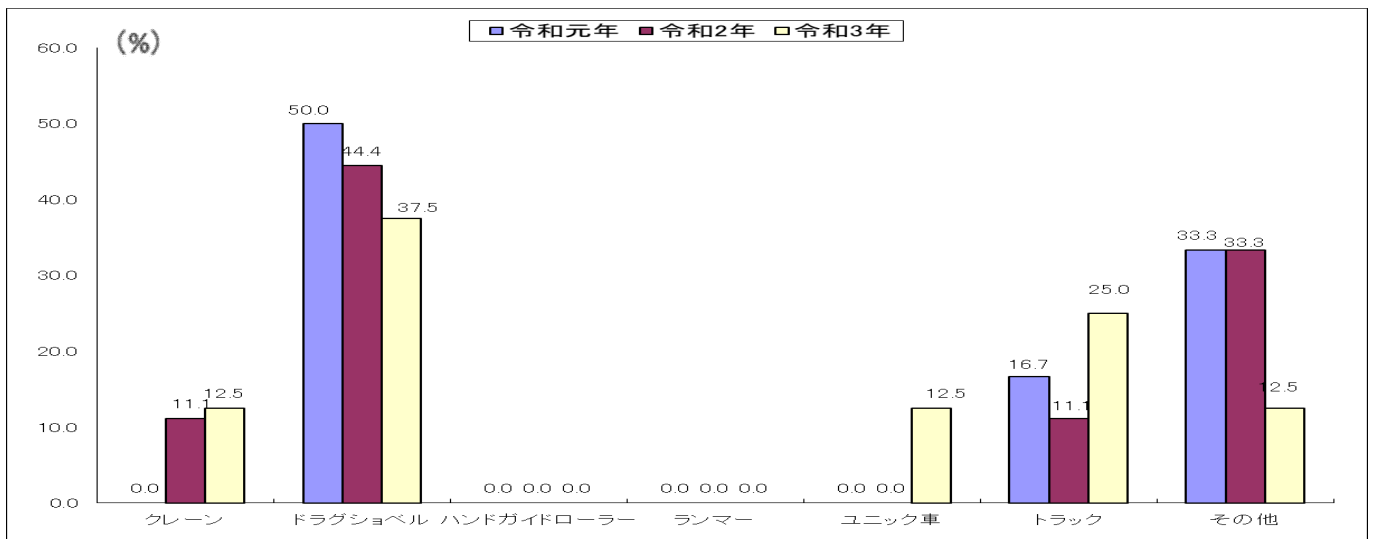
※その他の発生内訳：作業台、2階床、擁壁、階段、バルコニー、小屋裏など。

図 5-2 原因・型別労災発生状況（工具「切れ・こすれ」の内訳）



※その他の発生内訳：電動ドリル、インパクトドライバー、ホールソー、ガラス、部材など。

図 5-3 原因・型別労災発生状況（車両系建設機械の内訳）

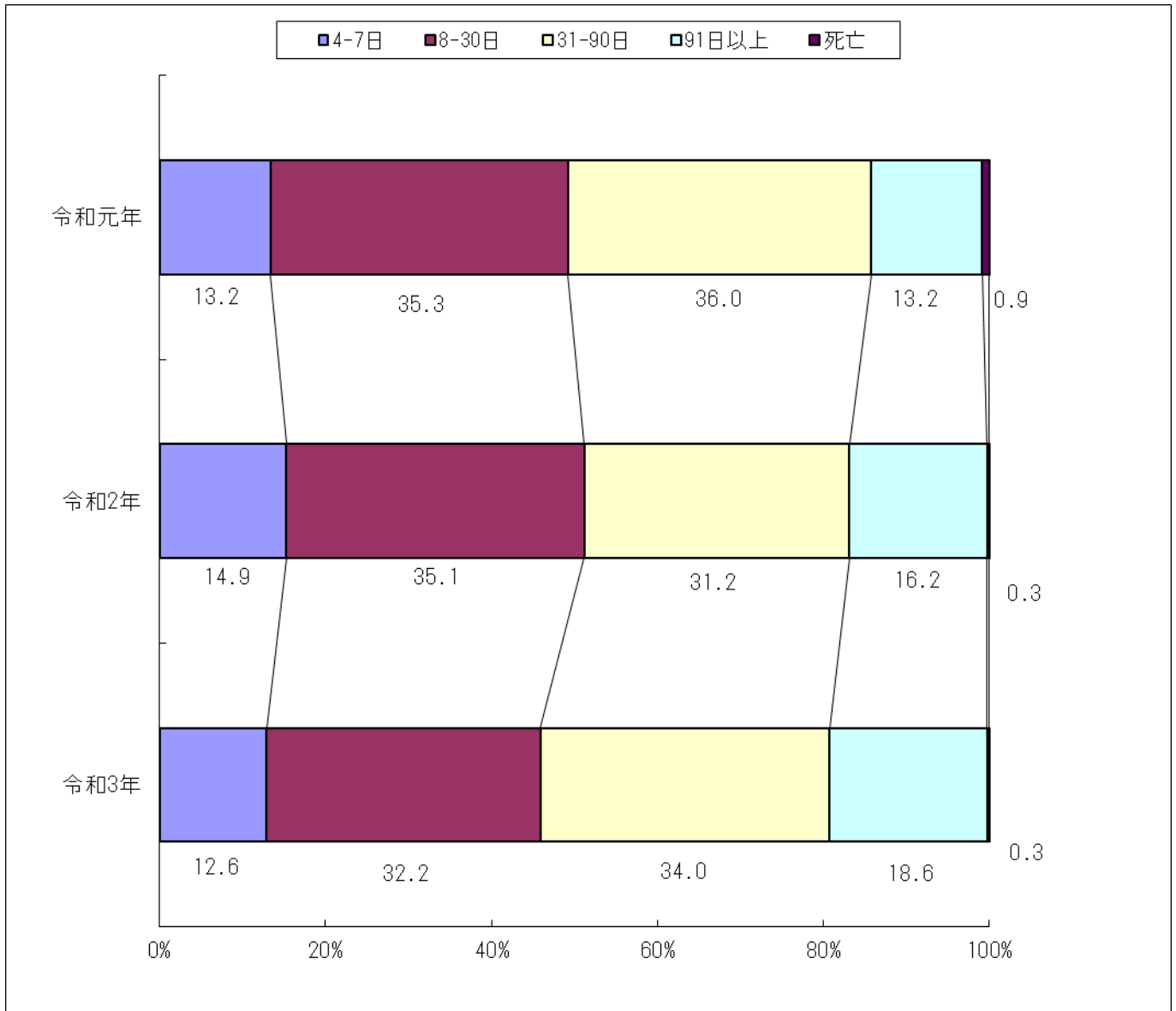


※その他の発生内訳：ミキサー車など。

## 6. 休業日数別労働災害発生状況

労働災害の休業日数については、この3年間で休業91日以上の割合が増加傾向にある。特に重大な災害につながる『墜転落』『電動工具』『車両系建設機械』について、元請業者・事業主が協力して労働者に災害防止の重要性について常に自覚を持つように、繰り返して安全衛生教育を実施しなければならない。

図6 休業日数別労働災害発生状況



## 7. 雇用形態別労働災害発生状況

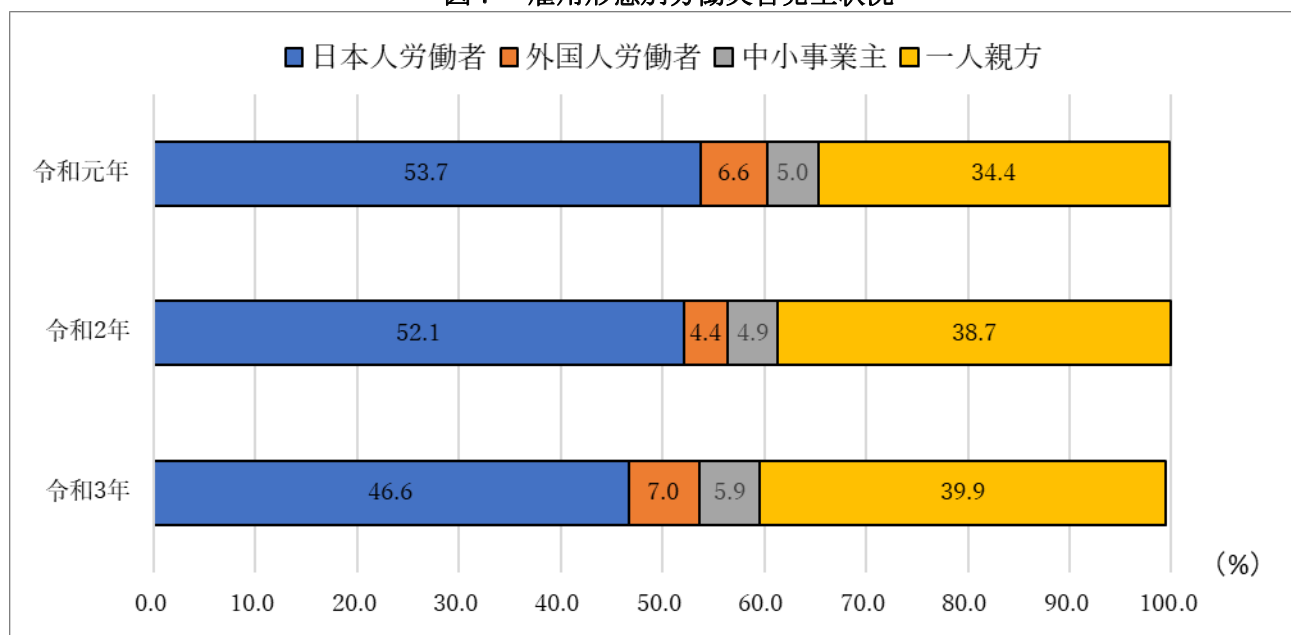
令和2年と比較すると、労働者（日本人と外国人の合計）▲2.9%、事業主+1.0%、一人親方+1.2%となっており、「事業主」と「一人親方」の割合が増加した。

今後も、指導・教育する中心的な立場である「事業主」には、労働安全衛生に対する意識を高めることが求められ、「一人親方」も含めた労働者への具体的な対応としては、安全衛生に係わる必要な知識・資格の習得・取得、災害未然防止安全活動の確実な実施が挙げられる。

また、「一人親方」に対しては、万が一の災害補償対策として「労災保険の特別加入制度」等への加入促進も引き続き必要となる。

尚、外国人労働者に関しては、令和2年に一旦減少したが、再び令和元年の割合に戻っており、その動向については引き続き注視する必要がある。

図7 雇用形態別労働災害発生状況



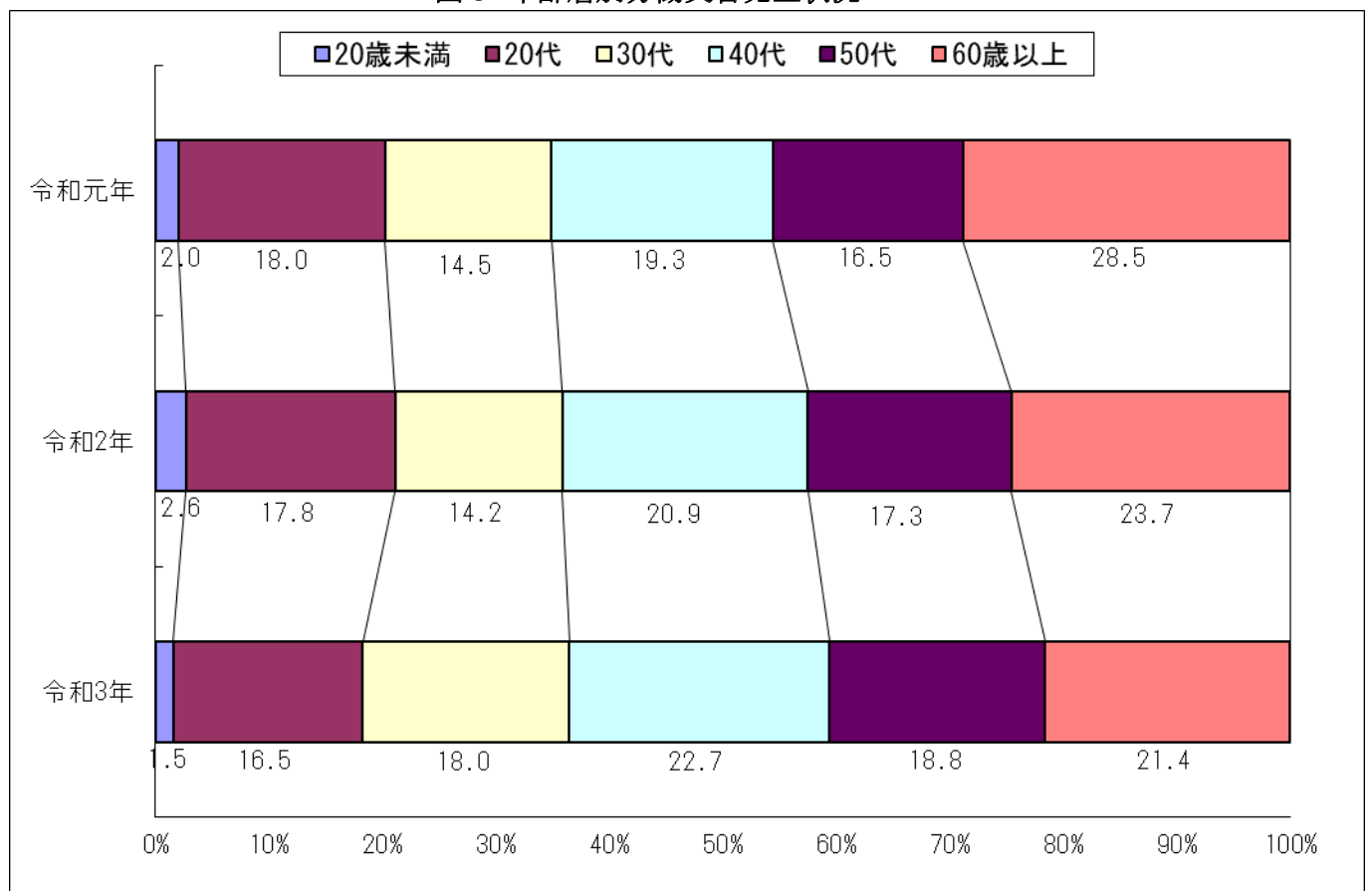
※不明が令和元年は1件、令和3年は2件。

## 8. 年齢層別労働災害発生状況

令和3年は、令和2年に比べ30歳代から50歳代で増加し、他の年代層では減少の傾向が見られた。令和3年全体で見ると40歳代の割合が22.7%と1.8%の増加となり大きな割合を占める事となったが、30歳代が前年より3.8%の増加で大きく増加している。60歳以上は、21.4%と前年より2.3%の減少傾向がみられるも以前大きな割合を占めている。今後も低層住宅工事に携わる高年齢化と、若い外国人労働者の増加が予想されるため、高年齢層を含めた低年齢層の災害発生比率の増加が懸念される。また、原因・型別労働災害発生状況では墜転落が最も高い割合を占めているため、労働災害防止に対して、安全衛生責任者（推進者を含む）および現場の管理・監督者は、現場巡視による日々の健康状態の把握をおこなうと共に、特に建て方作業や高所作業における適正配置を考慮し、正しい作業手順が確実に実施されているか確認し、危険の芽をいち早く摘むことが必要である。

また、特に20歳代30歳代と中・高齢者作業員に対する新規入場者教育・送り出し教育を確実に実施し、職長・安全衛生責任者教育、能力向上教育など安全衛生教育を継続的かつ、定期的を実施することによって更なる安全に対する意識を高めていくことが重要である。

図8 年齢層別労働災害発生状況





## 9. 月別・曜日別・時間別 労働災害発生状況

月別の労働災害発生状況（図9-1）は、4月を除く1月～5月が減少傾向で推移しているのに対して、9月を除く7月～12月においては増加傾向が認められる。6月頃からの急激な気温・湿度の上昇に伴う熱中症対策として、適時に正確なWBGT値（暑さ指数）を確認するための計器の設置をはじめ、柔軟な作業計画の見直し、給水・塩分補給等の配慮、空調服の導入、遮光およびミスト散布などの一層の充実が必要である。

曜日別（図9-2）の発生状況に関しては、月曜日と水曜日が20%前後と突出しており、休日明けの作業環境の変化に対応する適切なKY活動の実施に加えて、週半ば以降においては疲労の蓄積による集中力の低下を招かないよう、無理のない作業計画の立案・実行が求められる。

時間帯別（図9-3）では9時台、11時台、14時台が前後の時間帯と比較して高く、休憩を目前とした時間帯での発生率が高い傾向が継続している。

上記より作業開始時のKY実施を励行するとともに、長時間にわたる労働の継続による疲労の蓄積を避け、WBGT値等の気候条件に応じ適時の休憩を取得するなどの安全対策について、継続的に安全衛生教育を実施しなければならない。

図9-1. 月別 労働災害発生状況

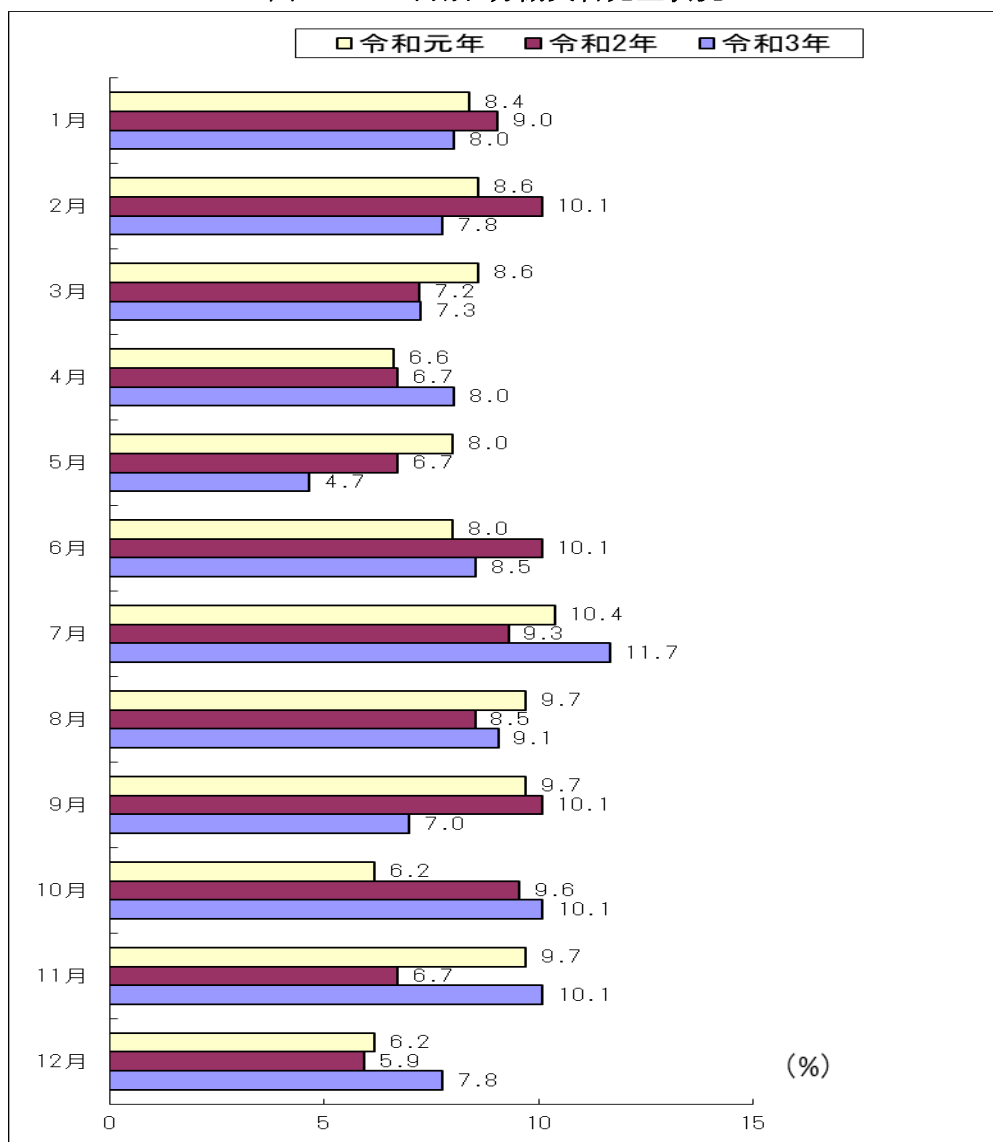


図9-2 曜日別 労働災害発生状況

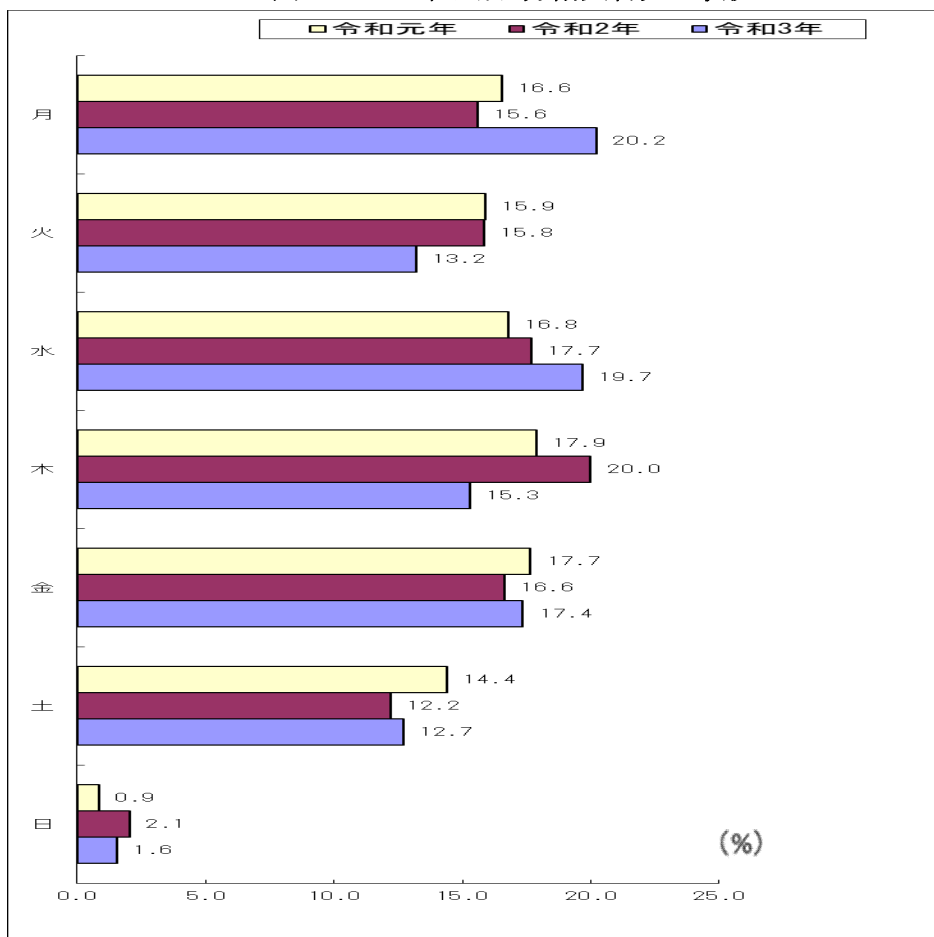
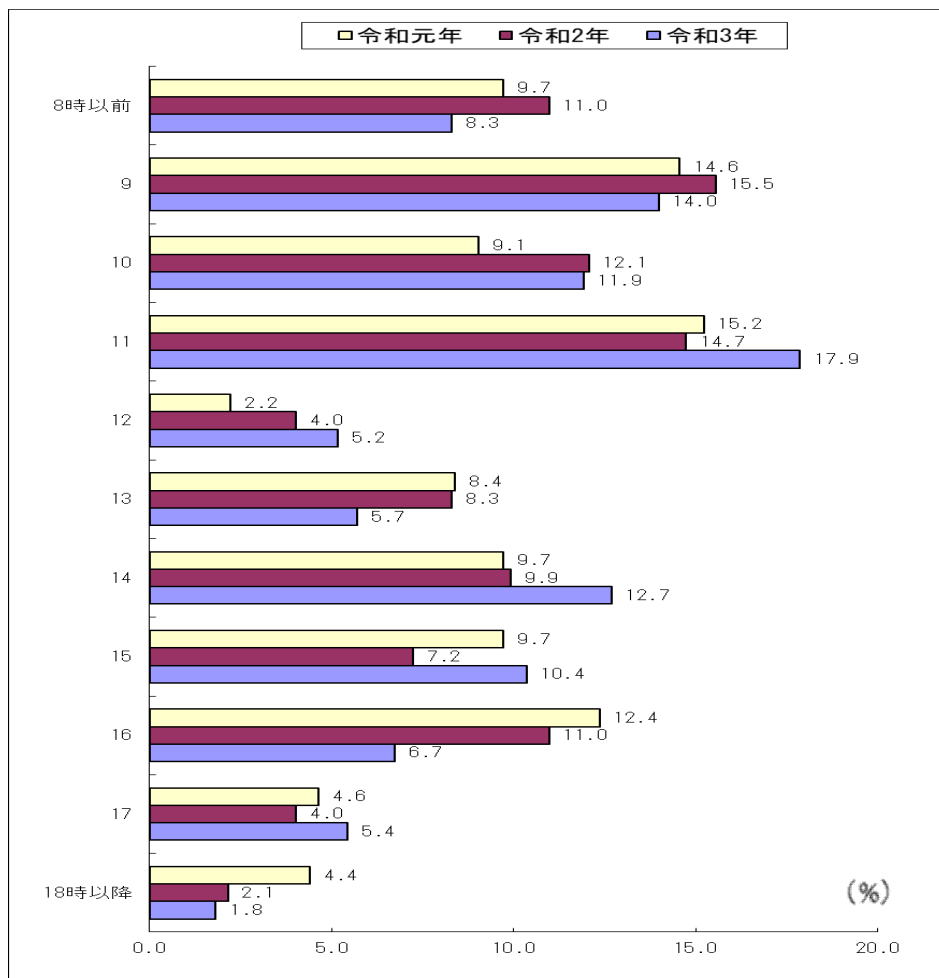


図9-3 時間帯別 労働災害発生状況



## 令和3年 労働災害発生状況

### 作業分類の「その他」(13)に対する回答 (図3)

- ・アスファルト
- ・仮設電柱撤去
- ・サッシ入替作業
- ・駐車場内にて
- ・ボーリング
- ・荷受け
- ・管理(2件)
- ・杭(2件)
- ・事務作業
- ・敷地内移動中
- ・産廃ボックスより転落
- ・プレキャストコンクリートパネル製造作業(2件)
- ・記載なし(5件)
- ・インテリア
- ・現場の立合い
- ・資材運搬中(2件)
- ・通勤(2件)
- ・溶接
- ・荷物積込
- ・建具ガラス
- ・地盤調査
- ・断熱材入れ
- ・片付け
- ・仮設(3件)
- ・交通誘導(4件)
- ・地盤改良工事(3件)
- ・バルコニー防水
- ・リフォーム
- ・監督者
- ・現場確認
- ・補修
- ・搬入(6件)

### 職種分類の「その他」(26)に対する回答 (図4)

- ・ユニットバス(4件)
- ・桶工
- ・ユニック運転手(2件)
- ・サッシ工
- ・補修(2件)
- ・ボーリング工
- ・屋根(2件)
- ・地盤改良業者(4件)
- ・工場作業員
- ・水道(2件)
- ・配送
- ・熱絶縁工(吹付断熱施工)
- ・プレキャストコンクリートパネル製造業者
- ・記載なし(5件)
- ・インテリア
- ・オペレーター
- ・クレーン運転手(2件)
- ・社員
- ・溶接(3件)
- ・断熱工
- ・荷揚げ(3件)
- ・外装工(2件)
- ・杭(2件)
- ・清掃
- ・エレベーター
- ・仮設(2件)
- ・警備(3件)
- ・保全
- ・フレーマー(4件)
- ・地盤調査
- ・外柵仮設
- ・玉掛
- ・事務職
- ・多能工

### 災害分類/墜転落の「その他」(19)に対する回答 (図5-1)

- ・2階床パネル
- ・階段の踏み外し
- ・路肩
- ・ブロック塀
- ・ポーチタイル
- ・仮設電柱
- ・可搬式作業台(2件)
- ・墜転落
- ・作業台
- ・浸透マス
- ・道板
- ・内部階段踏み外し
- ・擁壁
- ・産廃ボックスより転落(2件)
- ・平積した石膏ボード足場

### 災害分類/切れ・こすれの「その他」(29)に対する回答 (図5-2)

- ・ユニットバス組立
- ・アンカーボルト
- ・オーガー攪拌翼
- ・ガラス
- ・キャビネット
- ・サッシ
- ・サンダー
- ・スクレーパー
- ・ステンレス浴槽
- ・ドリル
- ・パテベラ
- ・板金で切創
- ・フェンス
- ・モルタルミキサー
- ・養生用ゴムマット
- ・架構体
- ・電動工具
- ・金物による裂傷
- ・型枠吊り用フック
- ・軽天材
- ・建築材料
- ・施工済の建材
- ・手ノコ
- ・扇風機カバー
- ・足場(4件)
- ・廃材
- ・点検口フレーム
- ・鉄骨梁とCBにて
- ・金属プレート(2件)
- ・プレセッター金物(2件)

### 災害分類/車両系建設機械の「その他」(36)に対する回答 (図5-3)

- ・くい打ち機
- ・生コン車

### 災害分類/「その他」(90)に対する回答 (図5)

- ・こすれ
- ・すべり
- ・背骨の圧迫
- ・たたかれ(2件)
- ・通勤災害
- ・つまずき
- ・はさまれ(7件)
- ・挟む
- ・指を挟まれる
- ・指を挟む
- ・指挟み
- ・型枠に指を挟んだ
- ・巻き込まれ
- ・ひねる(3件)
- ・腰を捻る(2件)
- ・部材を踏みつけた
- ・無理な体制での仕事
- ・無理な動作(8件)
- ・一酸化炭素中毒(2件)
- ・家具落下
- ・急性腰痛
- ・当たる
- ・踏み外し
- ・踏み抜き
- ・目に異物が入った
- ・物等との接触
- ・崩壊・倒壊(3件)

- ・法面崩落
- ・蜂刺され
- ・職人間トラブル仲裁における受傷
- ・立て掛けていた道具が倒れ接触
- ・トラックから降りる際
- ・ドラム缶を足の上に落とす
- ・金庫扉に指を挟まれた
- ・部材の倒れ・はさまれ(8件)
- ・仮設トイレの下敷きになる
- ・重量物運搬時の踏ん張り
- ・足の上に重量物を落とす
- ・足場階段から飛び降り

#### 災害分類<墜転落>の発生状況

- 下屋吹抜部に仮置きした足場板が落下し、支えきれず1階へ転落。
- テラスの波板屋根の取付中、脚立から足を滑らせ転倒。
- 1-2階締結ボルトの締付け作業の時、脚立昇降中に踏み外して転倒。
- 作業後、2階外廊下の養生テープに寄りかかり地面へ転落。
- スレート屋根歩行中、下地が無い場所を踏み抜き落下。
- 足場解体中、下屋控え材を外した際バランスをくずして転落。
- 屋根葺き替え工事で、作業床を移動中に足を踏み外して転落。
- 解体用仮囲いを昇っている時、足を滑らせ転倒。
- 2階テラス屋根の雨だれ補修の為、はしご昇降中に転落。
- 屋根上枯葉清掃作業の為、はしご昇降中にはしごが外れ転落。
- 2階にある部材を取りに行く為、仮設階段を設置し昇降。階段が外れ転倒。
- 外部足場でタイベックを修復中、足場から落ちテラスコンクリートに頭をぶつける。
- 吹抜玄関で足場板を脚立と受材で支えクロスを貼っている時、バランスを崩し落ちる。
- 外部足場で外壁材張り付け中、足場が崩れ落ちる(足場の不具合)。
- 擁壁端部でコンクリート打ちホースの中継をしていた時、足を踏み外し落ちる。
- 脚立に乗り、玄関ホールで引き戸上枠の採寸中、足を踏み外し落ちる。
- 外部足場で外壁取付中、足場を移動して採寸している時、足場の幅の減少に気付かず落ちる。
- 材料を両手に持って2F床を移動中、バルコニーの段差に気付かず足を踏み

外し落ちる。

- 脚立に乗り、バールでビス頭を挟みパネルを引寄せ中、ビス頭が切れた反動で脚立ごと倒れる。
- 脚立から下りる時、材料養生のシートが風で煽られ足元が見えず、ステップから足を踏み外して落ちる。
- 足場組立中、めまいがして落ちる（熱中症によるめまい）。
- 脚立を降りる時、ステップを踏み外して落ちる。
- 荷台の上で、木材を結束している PP バンドを持ち移動させようとした時、PP バンドが切れ、反動で落ちる。
- 梁上に乗り接着剤を塗布している時、バランスを崩し落ちる。
- 階段室で脚立に足場板を渡し、天井石膏ボードを取付中、釘打機のホースが足首に絡み、足を踏み外し落ちる。
- クレーンでパネルを荷揚中、荷が突風で煽られた時、咄嗟に吊荷を押さえようとして落ちる。
- トラック上に積まれたラック上で壁パネルの玉掛作業中、片側のクランプが外れ、パネルが頭に接触し落ちる。
- 天井ボード作業中、脚立から転落しあばらを骨折した。
- EV シャフトで作業中、架けた道板が外れ転落し全身を打撲した。
- 付底荷揚げ中、手摺部材が外れ足場一層目より転落し踵を骨折した。
- 2階ベランダでつまずき、開放部から転落し肘を挫創した。
- 梯子の上下固定をしておらず、梯子がずれて1階床上に転落、大腿骨骨折。
- 作業床上の防護ネットを拾い上げて移動中、足場床を踏み外して墜落、基礎立上り部に強打して殿部挫傷。
- 境界上の仮囲いネットを取り外し中、敷地内の浸透柵コンクリート蓋を踏んだところ隣地へ16m落下、腰椎骨折。
- トラック荷台から降りる際、あおりカバー天端に足をかけたところ足を滑らせ転落、頸髄損傷。
- 脚立足場上で水平ネット取付作業中、梁に水平ネット取付金物を引っ掛けようとしたところ、バランスを崩し内部土間コンクリート上に転落、肋骨骨折。
- 垂直ネット取り外し中、バランスを崩し3m落下して基礎に頭部を強打、頭部頸髄損傷。（墜落制止用器具未使用）
- 仮囲い上部で単管を解体中にバランスを崩し1階床に転落、両足、鎖骨骨折。
- 外壁パネルの不陸調整作業中、4尺脚立上でバールを外壁の間に差し込み力を入れた折、バールが外れてバランスを崩し脚立から転落、脳震盪、両肘打撲。
- 天井配線を7尺脚立上で作業中、体制を崩し脚立と共に転倒、左肘を骨折。

- 脚立足場上で天井下地施工中、脚立の脚が階段箱抜き部の養生ベニヤ隙間にはまり、バランスを崩して飛び降りた際、左足踵をコンクリート土間に強打、踵骨折。
- 4尺脚立で天井ボード貼作業中、バランスを崩し脚立から転落、左手首骨折。
- 7尺脚立上で梁を取り付けている際、バランスを崩して転落、右肘打撲。
- 足場上で内装材の荷揚げ中、材料を持ち上げようとした際、ふらついて後方へ重心がずれ玄関土間上に転落、頭部裂傷。
- 2階床梁施工中、梁を外周梁上に仮置きする際、バランスを崩して外部足場から地上の基礎まで転落、眼底骨折、足裂傷。
- 階段ホールで石膏ボードにファイバーテープを施工中、階段脇に設置されている仮固定の手摺に足を掛けたところ手摺と共に1階に転落、くも膜下出血、全身打撲。
- 工事担当者が1階外部でバルコニー軒天補修工事中、脚立から降りる際に転落、手首骨折。
- 建方工が8人で1階梁を設置作業中、次の梁を設置するために梁上を移動中、金物に躓き1階基礎土間上に転落、手首粉碎骨折。
- 建方工が1階の玄関脇にて1人で脚立を使い外壁取付作業中、不安定な場所に脚立を立てたためバランスを崩し脚立もろ共転落、内部土間と脚立に右半身を打ちつけ肋骨骨折。
- 1階土間上にて1人で配線工事作業中、脚立から降りようとした際、右足を滑らせ左足をひねった状態で土間に着地、左足首を骨折。
- 建方工が2階馬足場の作業床上で小梁の取付作業中、作業床から足を踏み外し2階ALCへ飛び降りた際、持っていた梁が左腕にぶつかり挫創、腕骨折。
- エアコン業者が2階の屋外配管施工のため2段梯子を設置、梯子を上り切ったところ横滑りし、梯子に掴まったまま地面に転倒、右手首を捻り骨折、顎を梯子に打ち挫傷。
- 空調設備工が2階から1階へ梯子を使用して降りる際、梯子の固定フックが外れてズレ落ち、その反動で1階土間上に転落、胸部を強く圧迫し肺を挫傷。
- 外装工が玄関前のポーチ部分に脚立を立てて高所作業中、別の工事関係者が開けた玄関ドアに脚立が接触、バランスを崩し転落した際、脚立に右腕と胸を打ちつけ肋骨骨折。
- 防水工が梯子で2階から1階に降りるため、左手に材料を持ったまま開口部の蓋を右手で閉めようとした際、身体のバランスを崩して梯子から飛び降り、両足踵を粉碎骨折。
- 玄関土間にて2人で脚立による天井ボード貼作業中、脚立足場上で入れ替わる際に体勢を崩し、もたれかかった玄関ドアが開き、玄関外に足から転落、

左足首を強打して骨折。

- 建方工が一階小屋裏で雲筋交いを取付け作業中、バランスを崩し土間コンクリート上に転落、大腿骨骨折。
- 大工が屋内で可搬式作業台に乗って断熱材の敷き込み作業中、可搬式作業台の長辺方向部分から足を踏み外し転倒、膝のじん帯損傷。
- 解体工が単管養生解体中、単管上にて1人で建地を下ろす際、建地に取り付けてあったクランプが右手に接触して打撲。
- 大工が可搬式作業台上で天井下地の状況を確認中、次の確認箇所に移ろうと移動した際、可搬式作業台の短手方向（幅方向）に移動して足を踏み外し転落、腕を骨折。
- 建方工が2階でスラブ敷作業中、スラブを回転させた時に体勢を崩し梁上に足を着いたが、滑って水平ネットに墜落、ネット縁から滑り落ち、基礎土間上に墜落。
- 建方工が鋼製母屋を2階梁上で取付作業中、水平ブレースに右足を載せて移動した際、右足を滑らせて水平ブレースに右膝を強打、その後水平ネットに転落して膝捻挫。
- 溶接工が2階バルコニー上で脚立を使用して1人で梁の溶接準備中、不安定な体勢のため脚立と一緒に転倒、床と脚立に体を強打して骨盤骨折。
- 大工が1階共用部にて1人で内壁枠取付作業中、4尺脚立でバランスを崩し左足で土間に着地した際、尻餅をつくように倒れ骨盤骨折。
- 空調設備工が1階の玄関付近にて6尺脚立の5段目に跨って作業中、アメニティ本体を吊り込みする際にバランスを崩し土間上に足から落下、右足首を骨折。
- 足場工が足場2層目（地上4m）にて1人で足場解体中、吊り足場のブラケット取外しの際、建地が抜け落ち安全帯を掛けていた建地部材と共に地上に落下、背中を強打、肋骨骨折。
- 外構工が脚立上にてカーポート組み立て作業中、身を乗り出した際にバランスを崩し、脚立の足元が沈み込み脚立ごと転倒、左手を突き骨折、胸部打撲。
- タイル工が作業台を使用してタイル施工中、作業台が傾き作業台ごと転倒、左足首骨折。
- 外装工が脚立にて外壁を施工する際、足を掛けていた足場建地が回転した為、バランスを崩し脚立より転落、地面の配管柵に左脇腹を強打、胸部骨折。
- 住宅の2階屋根パネル敷き込み中、用心棒（墜落防止器具）・2階小屋水平筋交い・水平ネット未設置で、誤って屋根パネルと共に2階床上まで墜落する。
- 木造住宅3階から2階へ防水資材を持って建作くん（アルミ仮設階段はし



ご)を下降中、固定をしていなかった建作くんが、階段開口部を1階まで被災者と共に転落した。

- 玄関ポーチタイル上で竣工後の手直しでインテリアドアの交換作業のために段ボールの梱包を解いて丁番を取り付けようと解いた梱包の段ボールの上を水平に横移動した時にダンボールの下にポーチタイルが無いことを気づかず段ボールごと踏み抜いて40センチ下の地面に墜落した。バランスを崩し、右足首をねじって着地した。
- 建方作業中、一側足場の2層目作業床で2階床梁取付作業中、仮留め状態であった2階床梁に手を掛けた際、想定外にぐらついた事で身体のバランスを崩し、墜落の危険を感じたがその場で体勢を保持する事が無理と判断し、直下の玄関ポーチ土間上に飛び降り、着地の瞬間左足踵を強打し被災した。
- 2階小屋梁上(水平ネットを設置途中状況)で、小屋梁取付作業中、小屋梁固定接合ピンを取付ている他の大工と誤って背面(お尻付近)同士がぶつかり、被災者は跳ね飛ばされるように梁上から転落した。小屋梁下水平ネットが未設置であった事で2階床まで約2.7m転落した。脚から着地したものの左踵を骨折し、続いて前のめりに転倒した際、床にあった栈木に顔面をぶつけ、左眉付近を切創した。
- 玄関ポーチ上で玄関底上の看板用照明のアンクル、照明を取り付けようとしている時、底上の照明を取り付ける作業する為の脚立の上で一人で脚立(6尺)を梯子状に使用し、雨上がり後でタイルが濡れていた為、脚立足元が滑り、慌てた拍子にバランスを崩し脚立から落下。臀部を強打し被災した。
- 解体中、足場の3層目から解体資材を荷卸し(2層目作業員～地上作業員へ手渡し)中、次の足場資材を取ろうと身体を反転移動させた瞬間、身体のバランスを崩し、敷地の道路境界いっぱいに組まれていた足場から前面道路上まで約6m落下し、「頭部」と「肺」を被災した。
- クロス下地パテ作業中、吹き抜け開口部付近で作業中、誤って階段開口部で身体のバランスを崩し、足を滑らせ階段開口部へ転落したが、咄嗟に転落過程で笠木にしがみつきぶら下がって、ワテンポにおいて足から階段下の1階廊下に着地したが、着地の際に腰を圧迫し被災した。
- 小屋裏ロフトを美装する為、廊下とロフト開口に架けた梯子を上昇中、梯子を登り始めた時点から徐々に梯子足元の毛布が滑り始め、その状況に気付かないまま上昇を続け、右足(左足は梯子踏み栈上)をロフトの床上に架けた瞬間、梯子の足元が養生用の毛布と共に滑り、梯子上端部がロフト開口から外れ、梯子と共に被災者は高さ3,145mmを墜落し被災した。
- 耐火被覆材を建物内部へ搬入中、基礎天端土台水切から足を滑らせ、体勢を大きく崩し足場作業床から転落し、掃出し窓敷居部に左脇腹を強打し被災し

た。

- 建方工事が完了した住宅の内部土間上に 6 尺脚立を設置し、小屋梁上に給湯器のリモコン配線中、誤って身体のバランスを崩し、脚立の転倒と共に転落する。
- 住宅 1 階土間上で脚立に載り大梁間に小梁を取付中、身体のバランスを崩し後方から土間上に転落し、その上から落下した小梁が顔面を直撃する。
- 玄関土間で 3 尺の脚立を 2 台並べてクロス施工中、片方の脚立からもう片方へ乗り移ろうとした瞬間、足を滑らせ、腹部を脚立天端に強打した。
- 木造 2 階建て建方作業中の小屋裏仮床上で作業中、仮床端部から足を踏み外し転落、その際母屋に胸を強打した。
- 5 尺脚立で作業中、作業終了し脚立から降りた際、脚立に正対して降りていたが、狭い場所での作業であったため、体をひねるように降りたことが原因で踏板を踏み外し、中足骨を骨折。
- 足場の解体作業中、被災者は職長から渡された足場材を受け取ろうと、手摺が無い事を失念し、あるつもりで身を乗り出した際に身体のバランスを崩し、境界部分の施工済み外構メッシュフェンス上に墜落。身体の左上半身を強打し被災した。
- 2 階階段ホールにて、天井石膏ボード張り施工中、4 尺脚立上（上から 2 段目高さ約 90 cm）でビス締め作業の際にバランスを崩し墜落、前にあった防火戸の枠に右肩を強打し右鎖骨を骨折。
- 作業開始前、現場状況を確認し、2 階から仮設階段で降りる際、仮床のベニヤ(12 mm×900 mm×400 mm)の上に乗ったところ、ベニヤ板が割れ 1 階床面へ墜落し、左足かかと骨挫傷。
- 先行足場組立中、最上段に親綱支柱を取付けの際、手摺に掛けていた足が滑り、フルハーネスフックの掛りが不十分だった為、地上へ墜落し、肺挫傷・肋骨骨折。
- 2F 天井下地の間仕切下地材（木材）取り付け作業中、脚立に設置した作業床（高さ約 90 cm）が、足を踏ん張った際にズレ、一緒に倒れる形で墜落し、右足首を骨折
- 天井部壁下地組み立て作業中、梁に手をかけ脚立を使用して仮床から降りる際、手がすべり脚立より滑り落ち、腰椎圧迫骨折。
- 3 階のエレベータースペース部に設置してあった仮床を解体中にバランスを崩し 2 階床(高低差：2.8m)へ墜落。腰を強打し第四腰椎の骨折。
- 2 階 ALC 床の PS 部への穴あけ作業途中に、ALC が破断し、2 階床から 1 階土間上へ落下した。
- 深基礎部（H450）のコンクリート打設時、基礎外側から基礎内側へ移動する

際、型枠を跨ぎ、深基礎部に敷設した道板から足を踏み外し墜落。地盤面で胸と肘を強打。

- スッキリポールの施工中、脚立上でバランスを崩し飛び降りた際にかかとと臀部を強打した。帰宅後、かかとと臀部の痛みがひかない為病院で診察を受けたが、痛みのない背骨が圧迫骨折していることが発覚した。
- 玄関段差部分の天井クロス施工時に、体勢を崩しステージから転落した。ヘルメット未着用と思われる。
- 足場上を歩行中に墜落。
- 脚立作業時、バランスを崩し転落。
- 据付作業の事前準備中、作業床（一層目）から転倒し受傷。
- 外壁タイル貼り作業時、足を滑らせ墜落。
- 脚立に一方の足を掛け、他方の足を壁下地の横棧に掛けて作業中転落し、骨折。
- 天井根太パネル設置時に足を踏み外して天井根太に胸を強打した。
- 脚立天端とボードに足をかけたところ、ボードが折れ転落し背中を強度した。
- 脚立に跨がり天井排水管取付け中にバランスを崩し転落。
- 軒天高圧洗浄時、バランスを崩し手摺隙間から1.5m下F型ルーフに転落し、右肩強打。
- 内部階段室でサッシ取付作業中に足を滑らせ脚立より転落。
- 3階建て建方工事の荷揚げ作業中に3階フロアより2階フロアに転落。
- サイディング張り作業中に足場の昇降階段の地上3段目より滑り落ちた。
- 未固定のはしごから下階に降りる際、はしごがすべり墜落。手首骨折、膝打撲。
- 脚立にまたがり、天井下地作業中にバランスを崩し、背中より墜落。肋骨骨折。
- 脚立作業中に電話が鳴り、対応しながら降りている際に足を踏み外し転落。肩甲骨粉碎骨折。
- 外壁作業中、足場3層目からバランスを崩し転落。骨盤、肘、肩、頭にひび、骨折。
- 先行足場組立中に手直しの為、2層目相当の単管からバランスを崩し転落。踵骨折。
- 天井野縁組みの際に3尺脚立に2×6材を渡らせてた足場が折れて落下した。
- 脚立昇降中にバランスを崩し落下した際に手首をつき骨折。
- 2階屋根アンテナ点検調整の為、移動式はしごを設置し昇る途中、はしごが滑り倒れ、約3m下の地面に墜落した。
- 階段部のクロス工事中、階段のささら桁より足を滑らせて落下した。

- 足場 1 層目作業床（高さ 2.5m）にて、ラス貼り作業中に作業床の切れ目に気が付かずに転倒した。
- 2 階吹き抜けの天井断熱材を施工中、仮床から脚立で 2 階に降りる際にバランスを崩し脚立より転落した。
- 1F から 2F へ移動中、はしごから足を滑らせ、踵から落ち左踵骨骨折。
- 木材を移動時に足場より転落。左足首靭帯損傷。
- 戸建て住宅インナーガレージの天井内電気配線作業中にアルミ製 5 尺脚立の 3 段目踏棧から右足を滑り落とし、脚立ごと転倒しコンクリート床に激突。
- 建方時、脚立から降りた時に足元に材料が有り、それを踏み骨折。
- 建物外部作業中、荷揚げ機用梯子に上部速結部分を左手に持ちながら登っている途中、バランスを崩し臀部から地面に墜落。
- 足場三布目で外部胴縁釘打ち施工中、作業床よりも低い位置の胴縁の釘を前屈みの体勢で打っていた際、作業床が少しずれてそのはずみで体勢を崩し、建物と足場の間から墜落。
- 建物内部作業中、4.5 尺脚立の下 3 段目から 2 段目に降りようとした際バランスを崩し、横にあるオープンステア階段に移ったがうまく着地できず足首を捻り床に倒れた。
- 建物内部作業中、配管同士を接着する際脚立の足が玄関框から外れ、バランスを崩して脚立から落下し、お尻から床面に転落。
- 建方作業中、2 階桁上パネル GL+約 6.71m から高低差約 2m の足場作業床へ飛び移った際に滑り、足から地面まで約 4.7m 墜落した。
- 足場の作業床 3 層目で釘打ちしている際、手摺とネットシートが未復旧の状態に気づかず手摺にもたれ掛かろうとし、バランスを崩し地面へ転落。
- 足場上高さ約 1.5m にて作業中に移動しようとした際、バランスを崩して足場上から転落した。
- 足場の作業床 1 層目を歩行中、足場の作業床に物が置いてあり、よけた際に足を踏み外して転落。
- 建物外部工事中、現場に入るため玄関ポーチを上がろうと脚立を使用し、片足をポーチに掛けようとした時、後ろ向きに転倒。
- 足場 1 層目で蓄電池設置のため作業床を外して蓄電池を取り付けたが、その後作業床が復旧されておらず、そこから地面に転落した。
- ガレージにて伸縮脚立と脚立にはしごをかけて、軒天サイディング施工中、伸縮脚立にロックが掛かっておらず、片側が伸縮してしまい体勢を崩して転落。
- 先行足場設置作業中、地上高約 2.3m で中さん手摺を上段へ配ろうとしてい

た時、幅 600mm の足場作業床上で足が滑り、約 1.9m 下の 1 階床上に墜落した。

- 階段クロス施工前パテ処理作業中、窓台から手すりに向かって鋼製足場板を掛け作業をしていたところ、鋼製足場板が滑り落ち被災者も一緒に転落した。
- 足場上 3 層目で垂直移動中、着地点がシングル足場なのにダブルの作業床と思い込み、足を踏み外し、高さ 4.7m 地点より地面の土の部分に背中から墜落した。
- 約 1m の高さで脚立にまたがりながら作業中、無理な体勢で下地を組み、4.5 尺脚立から床に転落。
- 2 階天井パネル上から天井パネルの出面の調整中、釘をバールで抜いた際に安全ネットが不十分だった箇所から勢い余って 2 階床に転落した。
- 足場 3 層目で長さ約 3m の火打ち材を取り付けるため、片手に火打ち材を持ちながらもう片方の手を落下防止枠にかけ足場頂上部に上がろうとした際、落下防止枠が外れて土台床パネル上に転落した。
- 玄関軒天のシーリング作業後、脚立から降りていた際に、高さ約 1m から足を踏み外し後方に転倒し、玄関ポーチの土間に尻もちをついた。
- ユニック車の荷台（高さ約 1 m）からグラウトポンプに足を掛け地面に降りようとしたところ足をポンプの上で滑らせ配管の間に足が挟まり転落した。
- 軒樋やりかえ工事中に足場で足を滑らせ約 2.5m から墜落した。
- 内部足場の第一床から筋交いに足をかけた際に滑り落ちて壁に肩を強打。
- 建方時、2 階切妻壁部において、作業床から 2 階床上へ墜転落。
- 小屋壁防火被覆施工中、小屋梁に設置した道板から 1 階床へ落下した。
- 脚立梯子でパテ処理実施し降りようとした際、足を滑らせて転倒した。
- 既存家屋根解体時、屋根材を剥がしたところ野地板が抜け落下した。
- 先行足場作業中、足を滑らせ 2m 下まで落下、右足踵を痛める。
- フェンス取付時、ブロック天端のコア抜き作業中転倒し手を骨折する。
- 駐車場内のトラック荷台から転落したものと推察される。
- 玄関ポーチの上に脚立を立て、防水シートを貼る作業中に脚立が転倒する。
- 玄関ポーチ部コーキング作業準備中、脚立で体勢を崩して転倒する。
- 1 階掃き出しサッシ枠作業終了後、脚立から降りる際バランスを崩し落下。
- 防水シート施工中、足場から転落する。
- クロス工事中、脚立から転落したと思われる。
- 脚立に上がろうとした際、足が釘打ち機のホースの輪に入り、釘打ち機使用時に足が引っ張られ落下した。
- 脚立に上がり梁を担いで足場に寄せようとしたが、バランスを崩して脚立から落下した。

- 脚立の1段目の踏み板に足を掛けようとした際、着信に気を取られ、足を踏み外して落下した。
- 軒先の墨出し作業時、足場の手摺に乗ってしまい横移動の際に手摺から足を滑らせ、墜落制止用器具で宙吊りになった。
- 1階下屋の作業中にバランスを崩して転落。
- 小屋から落下し、親綱及びフルハーネスを着用していたが、ショックアブソーバーが伸びきる前に2階床版に落下した。
- 下屋部分の開口部より1階床に落下した。
- 上棟時、1階での梁架け作業中に6尺脚立の4段目で足を踏み外して落下。
- 足場解体中に転落。
- 階段吹き抜け作業中に転落。
- 上棟作業中に脚立から転落。
- 外壁工事中に脚立から転落。
- 外壁塗装中に脚立から転落。
- 開口作業中に脚立から転落。
- 足場解体中、足場部材を降ろす際、バランスを崩し2.5mの高さから墜落し、土間コンクリートに眉間と右足の脛をぶつけて裂傷した。
- 建方作業中、小屋梁の上で甲乙梁を持って移動しようとしたところ、足を踏み外し3階床に墜落した。
- 木工事中、2階の階段開口部から1階へ墜落した。
- 2階から1階に降りようとした際に、階段開口部に設置した仮床が正しく固定されていなかった為、仮床のベニヤごと1階に落ちた。
- 足場を踏み外し、足場の隙間に挟まり、骨折。
- 梯子から足を滑らせて、転倒。
- 梁から足場に移動し、そのまま墜転落。
- 仮設電柱を撤去中、上った仮設電柱が倒れ、左腓骨遠位端骨折。
- 脚立にて天井石膏ボードの施工中バランスを崩し落下した際、着地時に左足を負傷。
- 上棟作業時、仮置き2階床パネルに足を掛けた際に天秤となり、1階床へ墜落。
- 建て方中、釘打ち機を持ち垂木取り付けなおしをしている際、転倒。母屋に足を掛けたところ左足首をひねった
- 大工による軒天下地作業中、玄関前作業用通路確保のため外されている足場に気づかず落下。
- 脚立に登って作業していた際に、バランスを崩し背中から転落。
- 建て方作業中に梁上で材料荷受け中に足を踏み外し3m下の床板に落下。

- 足場の1段目から落下し頸椎骨折。
- 建込作業中にめまいにより、梁上から落下。
- 移動中、仮床板がずれてしまい落下。
- 配管接続作業中にはしごを降りる時にはしごがずれて落下。
- 建て方作業中に仮根太材が折れて墜落。
- 建て方中に2階床梁（床板の貼ってない箇所）から後方へ下がって転落。
- 上棟建方作業中に2階床梁より転落する。
- 外部階段より下る際、階高の違い、着地面が斜面により右足首捻挫。
- 産廃ボックスに飛散防止ネットをかける際、ネットに足が引っかかり、転落、左手首、骨折。
- 給湯器設置作業中、脚立から転落し肋骨等骨折。
- 脚立に乗って軒天施工中、バランスを崩して倒れた。
- 2階梁上で建方作業中、バランスを崩し、1階大引材上に墜落。左側上腕部骨折及び脱臼他。
- 外部テラス屋根アクリル板を撤去中、脚立から降りる時に足をすべらせ後方に仰向けに転倒。
- 養生を剥ぐ作業をしている時、脚立のバランスを崩し転倒。
- 建方時に安全帯のフックを親綱に掛けず作業し、転落。
- 鉄骨階段取付前、階段室開口部に後ろ向きに歩いて落下。
- 建て方作業時に梁から転落し、あばら骨折。
- 1階屋根下地施工中、バランスを崩し1階土間床に転落。
- 足場工事中に熱中症を発症。
- 木造平屋建方梁掛け中に誤って1F先行床面へ転落。肋骨にひび。
- 屋根工事中に建物上部から転落、骨折が数箇所と、折れた骨で内臓が出血。
- 荷積みされたボードの上から8尺脚立へ移動する際に、8尺脚立の設置が不安定なため墜落。
- 吹抜け開口部で仮床根太施工後、ベニヤを張ろうとしたところ、足を滑らせ落下。
- 勾配天井の内部足場よりキッチンカウンターへ移動しようとしたところ、足場から落下。
- 入母屋部の妻壁の外壁面材を差し上げていた被災者に、差し上げ済の面材が滑り落ち激突し、一緒に落下した。
- 折上天井を施工中、足場に使っていた石膏ボードの山から転落し、第三頸椎負傷。
- 脚立作業中、後ろに転倒して背中・腰を強打。
- 施主現場立合い中、内部仮設階段より一階床掘り下げ部のコンクリート土間

へ落下。

- 勾配天井のクロス施工の際、脚立から転落し、右手をついたときに骨折した。
- 外壁サイディング張り作業中にバランスを失い足場から転落。
- 上棟建方作業中に2階床梁より転落する。
- 現場作業を終えて帰る際に、階段で踏み外し捻挫。
- 下足箱を取付中に3尺の脚立からバランスを崩し、足首を骨折。
- 外壁張りの作業中に、腰に巻いていた道具入れが足場に引掛かりバランスを失い、1階足場から落下した。
- 2tトラックに資材を積み込み、走行中に異音に気付いたため路肩にトラックを停車し、確認のため車外へ出た。路肩側を点検中に足を滑らせ、路肩から2~3メートル転落し、両肩及び骨盤右側を骨折した。
- 2F廊下で脚立作業中、養生材と段ボールを間違えつかみ、段ボールが外れて3m高さから階段側に落下。
- 材料上げ下げしているときに、はしごを下りようとしてはしごから転落し、かかとを骨折した。
- 内部昇降設備（階段）から降りる際に足を踏み外し転落し足を骨折。
- 屋根から足場作業床へ降りる際に足を踏み外し転落し全身打撲と左手骨折。
- 建て方工事中に2階開口部からバランスを崩し、1階へ転落し鎖骨を骨折。
- 養生作業中にバランスを崩し足場2段目から地面へ転落し全身を打撲。
- 作業中に脚立から転落。

#### 災害分類<切れ・こすれ>の発生状況

- 外壁パネル取外し後のリベットをクリッパーで除去中に切子が目に入る。
- フェンス基礎と堀削機のバケットの間に手を挟む。
- 卓上スライド丸ノコで木材切断中に左手が接触し被災。
- 大版ガラスを移動中、バランスを崩しガラス小口で腕を切る。
- 小屋パネル釘打ち中、パネル上を移動している時、釘打機が太腿に当たり、トリガーに指が掛かっていたため、太腿に釘が発射される。
- 桝材を押し切りで切断中、軍手をしていた左手が刃に巻き込まれ手首を切る。
- ステンレス浴槽解体中、ゴム手袋で鋭利な箇所を掴み中指を裂傷した。
- 片付け作業中、養生のない点検口に足を落とし、踵を裂傷した。
- サッシの荷受け中、フレームエッジで手を裂傷した。
- 一輪車でトラックに残土搬出中、足場板から足を踏み外し、バランスを崩して左肘がフェンス柱上部に接触、左肘裂傷。
- モルタルミキサーで攪拌中、排出口に残った下地材を取り出そうとした際、



攪拌部の羽根に接触、右中指骨折。

- 梱包段ボールの開封作業を行っていた際、右手に持っていたカッターで開封時に左手甲を切創。
- 足場上でバルコニー腕木取り付け作業中、足場中棧に足を掛けバランスを崩し、足場材で右手人差し指先を裂傷。
- 外構工がレンガをスライスするため、レンガを左手に持ち右手でグラインダーを持って作業していた際、刃が噛み押し込んだ折、勢い余って左手親指と人差し指の間を切創。
- 大工が床パネル工事完了の片付け作業中、軽天材につまずいて転倒、軽天ランナー材小口面に左前腕が当たり、裂傷。
- 既存建物の下屋桁梁を支える柱を切断中、桁梁の重量に柱が支え切れず桁梁が落下、ブロック塀と桁梁に右手が挟まり、指を2本切断。
- 建方工が現場敷地内にて2人で外装キャビネットを片付け中、キャビネットを折り畳む際に右指末節をキャビネットに挟み、小指骨折。
- 外構工が材料の空缶を潰すためサンダーで切れ目を入れた際、空缶の切り口で右手指を切創。
- 外構工がバルコニーの下地材をカッターで加工中、部材を押さえていた左手方向に刃を引いてしまい、左手親指と人差し指の間を切傷。
- 事業主が2階で居室界壁下地施工中、L鉄板を片手で持ちながら4尺脚立に昇る際、足を引っ掛けバランスを崩し、施工済みのL鉄板に手を掛けて裂傷。
- 大工が1階リビングで左手に持った木材を電動丸のこで切断中、右手に持っていた電動丸のこが切断時キックバックして木材を押さえていた左手親指に刃が接触、指の腹を裂傷。
- コンクリート支柱型枠用塩ビ管の高さ調整（切断）中、突然左手のみで持っているベビーサンダーが反撥し、塩ビ管の上部切れ端を持っていた右手の親指に接触し裂傷を負った。
- 型枠解体後の地中梁横の狭い空間で、簡易土留めに使用していた単管をベビーサンダーで切断中、反撥したベビーサンダーが左大腿部に接触し被災する。
- ピンネイラーで折れ戸枠を固定中、右手に持ったピンネイラーが足に接触し、その瞬間トリガーを引いてしまい被災。
- 外壁に取付ける引き込み開閉盤の取り付けに支障となる、足場建地（地上約2m）を除去しようとして作業中、予想に反し当該建地が最上層までの4層間に亘り一体で、それがジャッキベースを緩めた瞬間突然約300mm落下した。その際地上で建地を両手で掴んで支えていた被災者の右手が、落下して来た建地のコマと1層目作業床にはさまれ巻き込まれ被災した。
- ユニットバスの据付位置の微調整中、ユニットバス架台に先行して取付けら

れていた断熱材受金具の端部に誤って右手を接触させ、右手薬指第2関節付近に裂傷を負った。

- 住宅の組立中、先行足場の1層目から2層目の昇降階段付近で、3層目から屋根渡りへの昇降階段取付の合判作業で移動中、その取付中であつた昇降階段の手摺材が、上層へ運搬中の被災者の額に接触し被災した。
- 寄棟棟押え役物と棟押え本体を接合しようとはめ込もうとした際、突然先に納めていた折り返し部が外れてめくれ上がり、左手手首に接触し切創を負った。
- 急な降雨で、道具を撤収する際、道具を濡らしたくない焦りから、破風板金下地の角に手の甲を引っ掛け、左手甲切傷。
- フロア材貼付け作業中、フロア材切り替わり場所でフロアの角を取る必要があつた。電動工具で大まかに角をとり、細かな調整をカッターで行つた。右手でフロア材を抑え、左手でカッターを使用（当人は左利き）。その際刃が滑ってしまい、右手の手の平（親指と人差し指の付け根の間）を切ってしまった。
- 重量鉄骨柱荷下ろし作業中、下した柱がリン木の他にコラムステージに掛かる形で載っていて不安定な状態だった為、人力で柱をずらした際に崩れて柱とALCの間に中指を挟まれる。
- 地盤改良重機の先端へオーガー装着のため、オーガーをユニックで吊上げたところ、別のオーガーも引っ掛かり、くっ付いてきた。被災者が引っ掛かつたオーガーを外そうとしたため、ユニック操作員が注意喚起をした。その時に材料搬入トラックが現場まで進入してきたため、ユニック操作員が一瞬目を離した隙に被災者がオーガーに左手小指を挟んでしまい切傷した。
- 工場内の扇風機を移動中に扇風機カバーで指を切つた。
- 型枠吊り用フックが正常に掛かっておらず、外れて右目上に当たつた。
- ボンドの入った一斗缶に付着したボンド塊をカッターで削っていた際、左手人差し指を切傷。
- 2階壁組み中、釘打ち機の反動を受けスタッドを押さえていた左手に誤射した。
- 2階壁パネル組立て中、脚立上で姿勢を崩した際に釘打ち機を誤射し、近くの職方に刺さる。
- 下がり天井の下地組み中、下地材を保持していた左手薬指に釘を誤射。
- 床下にてトイレ既設配管を切り回す作業中、グラインダーの反発から砥石と接触。
- 1階壁建方作業中、釘打ち機のトリガーに指を掛けていてGN90を足に誤射。
- 基礎パッキンをグラインダーで切断中、跳ねて左前腕に切創を負つた。

- スクレーパーをポケットに入れて休憩していて、立ち上がろうとした際にスクレーパーで腕に切創を負った。
- 階段開口仮床を外し、ボード搬入時、バランスを崩し仮床受金物に背中をぶつけた。
- サンダーで塩ビ管をカットした際、サンダーが跳ね手首を負傷した。
- 1階天井野縁組み作業中、釘打ち機連結ワイヤーが眼球に刺さった。
- 建方作業中にバランスを崩し、誤って釘打ち機で足を打ち抜いた。
- 内部造作天井下地材施工中、釘打ち機にて誤って左手親指に釘を打ってしまった。
- 2階天井根太を固定する際、誤って釘打ち機で左足親指と中指の間に釘を打ち込んだ。
- 1階リビング床暖フローリング材を交換する際、ノミの操作を誤り左足ひざ下にノミの刃を当てケガをした
- 右足大腿部に釘打ち機が当り、釘を打った。
- 1階外部足場上で壁パネルの釘打ち作業中、移動の際に足場の中棧に足が当たりバランスを崩し、その拍子に握ったままの釘打ち機のトリガーを引いてしまい右太腿に釘を打った。
- 建物内部作業中、手のこにて木材切断時に自身の左手甲を裂傷。
- 建物内部作業中、フロア材を丸のこでカットしている際、安全カバーを持ち上げてカットした拍子に誤って左手人差し指を切った。
- 基礎上で土台材を移動中、基礎立ち上がりでズボンがアンカーボルトに引っ掛かり体勢を崩した際に、右大腿部内側をアンカーボルトで扶った。
- 建物内部作業中、階段の手摺下地を丸ノコにてカットしている際、沿えていた左手中指を切断した。
- 土台据え作業中、剛床パネルに上がる際に左足を剛床パネルに掛け、右足も登ろうとした際に 右手に持っていた釘打ち機射出口に右足足首付近が接触しトリガーを引いていた為、釘が発射した。
- 建方作業中、桁上合板を釘打ち機にて釘打ちしていた際、誤って右足部を釘打ち機にて打ち抜く。
- 足場の作業床 3 層目で軒天サイディングをグラインダーを用いてカットしている際、誤って左手中指を切ってしまった。
- 頭つなぎを結束している金属プレートを引き抜こうとした際、頭つなぎの山が体の反対側に倒れた拍子に金属プレートで指を切った。
- 薄壁下地作成時、下地材を卓上丸のこで切っていたところ左手甲を切傷。
- 1階床タイル下地合板取付中、釘打ち機を誤射して左手親指付根に刺さる。
- 材料を場内に搬入中、地中に埋まっていた鉄筋に足の裏が深く刺さる。

- 2階床パネル釘打ち中、釘打ち機で右足踵下に釘を誤射してしまった。
- 勾配天井下地作業中、釘打ち機を誤射して右膝上10センチに刺さった。
- 2階東面の木づれパネル取付施工作业中、釘打機を左膝に向けて誤射した。
- 外壁下地に通気口を設ける際、丸のこで左手中指、薬指を切断する。
- 足場から地面へ移動する際に、左足膝下部分が通し柱のプレセッターに当たり裂傷した。
- 足場から地面へ移動する際に、左足膝下部分が通し柱のプレセッター当たり裂傷した。
- 造作作業中に丸のこで指裂傷。
- 土台作業中にカッターで左手裂傷。
- 釘打ちによる手の裂傷。
- 上棟作業中に足を釘打ちで損傷。
- 上棟作業中に丸のこで左手裂傷。
- 外壁作業中にカッターで裂傷。
- 被災者が2階から合板を受け取り移動した際、横で釘打ちしていた大工の釘打ち機の射出口の下に足を出してしまい、75の釘が左足親指あたりを貫通した。
- 中間水切りの上からスターターを玄翁で釘留めする際に、板金同士重なって固かったため釘が跳ね返り、左目をかすめた。
- 集塵丸のこで石膏ボードを切っていた際、ホースが作業台に引っかかったためホースを引っ張たところ、誤って左手の中指と薬指の第2関節付近を切ってしまった。
- カッターを使って金物が入ったダンボールの梱包を切った際、誤って左人差し指をカッターで切ってしまった。
- 基礎工事中、鉄筋の上で丸のこを使用したところ、足を滑らせ太腿を切ってしまった。
- 建て方作業中、トラックを誘導していたところ、道路に置いてあった工具箱から飛び出したドリルの刃に足をぶつけ、負傷した。
- 階段室でパテ施工時、ヘラを落としてしまい、床を傷つけないよう足を出したところ、左足の膝下に当たり切創。
- 2階で材料を押し切りで使って切った後、材料を取ろうと右手を出してしまった。惰性で回っていた刃に右手の甲が接触し、親指の付け根から中指のあたりにかけて7センチほどの長さを切った。
- 釘打ち機で、誤って自分の足に釘を打ち付ける
- 丸のこで作業中、丸のこで指を切傷。
- 上棟中、屋根合板取り付け中、釘打ち機で足を打ち抜いた。

- ノミを使用中、手元を滑らせ自分の手に当たり切った。
- 切断方向に手を置き作業、丸のこで小指を切断。
- 屋根工事中、破風板を手にとって丸のこでカットしている際、誤って中指を切ってしまった。
- ダクトホースをカッターで切断中、誤って左太ももを裂傷。
- 丸のこで合板を切断中、端材を受け止めようとして左手が刃に触れてしまった。
- 材料の接着剤をノミで除去していたところ、勢い余って左太ももに刺してしまった。
- 屋根下地施工中、釘打ち機で左掌を打ってしまった。
- 荷台の荷下し中、先に下した材に足が引っ掛かり転倒し、落ちてきた材料で裂傷。
- 軒天作業中、釘打ち機で釘を指に打つ
- ドリルの回転の反動で負傷。
- 釘打ち機の釘が跳ねて負傷。
- 電動タッカーで固定中、指を負傷。
- 屋根仕舞の作業中、釘打ちの二本目が材料から外れ左手に釘が刺さった。
- 材料をサンダーでカットする際、誤って右膝周辺に当たり裂傷。
- 水切り板金取付中に左手掌切創。
- 足場に頭を強打し裂傷。
- 脚立から降りるとき、誤って足に釘を打ち込んだ。
- 木材加工時に手がすべり、左薬指を損傷。
- 母屋から東に斜めに釘留めする際、誤って右足人差し指に誤射し、骨折した。
- 釘打ち機にて、左手親指を打った。
- ボードをカット中、カッターがよれて左手指先を切ってしまった。
- サンダーでLアングルをカット中、サンダーの刃が欠け、その拍子でサンダーが手から離れ、足の甲に当たり裂傷した。
- 屋根下地材取付時、釘打ち機で指を打ち抜いた。
- バランスを崩し釘打ち機で自身の左手親指付近に誤射し刺傷。

#### 災害分類<車両系建設機械>の発生状況

- 基礎埋め戻し中、後退するバックホウに巻き込まれる。
- 駐車したトラックが動き出し、止めようとしてバンパーで足を打撲した。
- 水道工が建築地内にて1人でトラックからミニユンボを下す際、ミニユンボを転倒させ、右足を地面につき、右大腿骨を骨折。

- 基礎コンクリート打設の為、生コン車を敷地内で誘導中、誘導員の被災者と生コン車の運転手の連携が悪く、誤って生コン車後方部とダンプ前方部に手を挟む。
- ダンプの荷台から資材等を荷下ろし中、後方あおりを倒した際に、下部丁番が何らかの影響で外れ、あおり自体が落下し、安全靴を履いていない足に落ちた。
- 生木(15m程)の撤去を行う為、倒れた生木にワイヤーを掛け、重機で移動させていた際、付近に置いてあった生木群に枝葉部分が引掛り、根元が被災者の方へ回転し、激突した。その後転倒。
- トラック荷台上での作業中、あおり下部の不完全な固定により左足親指にあおりが落下し骨折。
- 建方作業で野地合板をクレーンで吊上げ旋回中、合板数枚が荷崩れを起こし落下、下で玉掛作業していた被災者に当たった。
- ユニック車で敷鉄板(1.5 × 3m, 約 800kg)の吊り降ろし設置時、吊り治具が外れ、倒れた敷鉄板に挟まれた。
- 車両誘導中、トラックとレッカーに指を挟まれ負傷、指先粉碎骨折と診断。
- トラック後部のあおりを開ける作業時、あおりが勢いよく倒れ、自身の右足親指を挟んでしまった。
- 自動検知 OFF を怠り、誤回転によりワイヤーが切断され、杭が被災者に落下。

#### 災害分類<激突>の発生状況

- 床板を持って玄関ステップを降りていた時、足を踏み外して踵負傷。
- 2階床パネル組立中、座りながら接着剤を塗布し立ち上がったところ、吊荷に接触し落ちる。
- 配管を丸のこでカットした際、破断した塩ビ管が右足脛に当たり骨折。
- 鉄骨仮置き作業中、立ち上がった際に付近の職方と肩がぶつかり、よろめいて左足首を捻り骨折。
- 解体工事で1人解体ガラに散水中、地面に飛来してきたガラがバウンドして下顎にぶつかり裂傷。
- 屋根仕舞い作業中、足場上5コマ目の作業床から建地を使い地面に降りようとした際に滑り、右足の脛横を足場建地のブラケットにぶつけた。
- 玄関前付近で作業が終わり、建物内にあるカバンを取りに向かっていた時、足場のジャッキに右足の甲部分をぶつけた。
- 敷地内で外柵ネットフェンス支柱を設置するため支柱上部をハンマーで打ち付けている際、勢いで誤って右手人差し指の付け根部分を支柱にぶつけて

しまい裂傷。

- 足場の材料を肩に担ぎトラックへ運んでいる際、前方へ転倒し、前にあった外柵の杭に頸・顔をぶつけた。
- 足場作業床上で段差を下から上に上がる際、足を滑らせて足場に膝を打ち付けた。
- 仮止めしなかった材料が落ちてきて手に当たり骨折。
- 土台敷き中に、仮置きした土台がずれて指に接触し骨折。
- 玉掛後、上げた材が落ちてきて激突した。

#### **災害分類<激突され>の発生状況**

- 足場手摺を地上に落下させた折、地上作業者の足甲に当たり、足趾粉碎骨折。
- 玉掛作業中、荷が足場材に接触し、吊具に繋がっているロープが引っ張られて外れ、荷の片側が脱落して接触、頭部、肩打撲。
- 外構工が2人で先行ブロック積作業をしていた際、隣地のエコキュートが敷地内に転倒、1人が下敷きになり鎖骨、肋骨骨折。
- 大工が屋内1階で内装材を移動中、4mのサッシアングルを手にとった際、同時に足で踏みつけてしまいサッシアングルがしなり右目に当たり、角膜負傷。
- 大工が屋外で内部の間柱加工作業中、10mほど離れたところに置いてあった内装用構造合板が突風で飛び、肩甲骨を骨折。
- 屋根仕舞作業中、かすがいを仮打ちし本固定する際、左手を離れた状態で打ち込んだ拍子にかすがいが跳ね返り左目に入った。
- 地盤改良作業後、ユンボをトラック荷台に積み込んでいる際、先に荷台上に載せていた重機が滑り落ちてきたため、ユンボを運転していた被災者がユンボと重機に挟まれた。
- 外壁パネル施工時、サッシ周りの固定枠を玄翁で外そうとした際、玄翁が手から滑り落ち、玄翁の平部分（釘打ち部分）が顔に当たった。
- 足場3層目で壁パネル上面が足場の火打ち材に引っかかっており、火打ち材を外した時に火打ち材の先端が顔に当たり負傷した。
- 建方作業中、2階床梁を組んでいる際に、柱が1本入っておらず、1階床から荷揚げの職方さんが甲乙梁を使用し2階床梁を下から突いて外そうとしたところ、上から手で梁を支えていた被災者の左手薬指が甲乙梁と2階床梁で挟まれ骨折した。
- 搬入車がバックしたところ、被災者の背中に衝突。
- 立てかけていた間柱材が倒れ背中を強打。

## 災害分類<飛来落下>の発生状況

- 外壁下地合板釘打ち中、仮打ちしていた釘が飛び抜け、目の下に当たる。
- 基礎工が敷鉄板を引き揚げるため吊り込み作業中、吊具フックの掛り代が少なく鉄板を地面から起こした際、吊具フックから鉄板が外れて鉄板が倒れ、右足甲を骨折。
- 3尺脚立に乗り開口部パネルの建ちを調整中、バールが間仕切りパネルと独立柱の間から勢いよく抜け跳ね、その場で半回転するようにバール先端部が、被災者の右手親指付け部に接触し裂傷を負った。
- 木材仮置き台から2個の移動式作業台へ木材の移動と、木材に取り付ける金物の作業員への手渡し中、木材仮置き台から梁材が落下し、逃げ遅れた被災者の右足甲に当たり被災した。
- 壁の組立て中、釘打ち機の連結ワイヤーが目に刺さった。眼球裂傷。
- 一階内部床上から下かけやを使って梁を打撃し組立ての作業中、打撃部分が柄から折れて落下。折れた衝院でバランスを崩し座り込んだところに落下してきた部品が左太腿に当たり負傷。
- 建方作業中、剛床の上で柱下部のミニビルトコーナーをビスにて固定していた際、梁桁の並べ替え作業をしていた梁が柱に当たり、柱が倒れ右肩に当たった。
- 地上にて1層目の足場作業床とブラケットを外そうとかがんで玄翁で叩いていた際、2層目に仮置きしていた足場作業床が落下し、左手に当たった。
- プレートランマーをトラック荷台から地面に降ろす時に、右足を地面に取られ、右足くるぶしから土踏まずにかけてランマーが落下した。
- 玄関前の足場下で足場上の作業員に鋼製L型巾木を渡している際、足場上の作業員が手を滑らせ、鋼製L型巾木を落としてしまい、被災者の肩に当たった。
- 土台据え作業中、基礎内で土台材が手から離れ、自身の足の上に落としてしまった。
- 土台材を基礎の上に仮置きし、ボルトの墨出し作業中、土台材が右足の人差し指の上に落ち負傷した。
- 解体中、外壁モルタルが落下し、被災者にも一部が当たり被災する。
- 落下した梁材が直撃したことにより、左足甲を骨折・左足甲から小指にかけて開放骨折した。
- 上棟作業中に梁が落下し肩を強打
- 被災者（配送業者）がユニックを使って柱を降ろす際、吊り上げた柱の束から約10本の柱が落下してしまい、その柱とアウトリガーに右手を挟まれた。また、転倒した際に仮置きしていた材料に顔を擦った。



- 上棟作業中、通し柱が未固定だったので倒れ、右肩甲骨骨折。
- 他の作業員が投げた杭頭が投函場所に入らずに被災者に当たってしまった。
- 積み込み作業中に材料で手を挟んでしまった。
- 室内の 1F、2F の上下作業中に、2F の固定されていない間柱が 1F 作業員に落下。
- 外部作業中の大工が立て掛けてあった建地を倒し、休憩中でヘルメット未着用の作業員に当たった。
- 土台墨付け中に土台を左足親指に落として、骨にヒビが入った。
- 立てかけていた間柱材が倒れ背中を強打。

### 災害分類<転倒>の発生状況

- 敷地のモルタル工事中、ぬかるみ部に足を踏み外しアキレス腱断裂。
- 出入口から屋外へ出る時、仮ステップを踏み外し転倒。
- 玄関から外へ出て移動中、ゴムマットに積もった雪で足が滑り転倒し、玄関土間に頭をぶつける。
- トラックの荷台に足場板を掛け、登っている時、靴底の土で足が滑り転ぶ。
- 洗面所を移動中、床養生合板の上で足がもつれ転倒する。
- 駐車場を歩行中、段差で足を踏み外して転倒し、膝を裂傷した。
- 攪拌器とバケツを両手に持ち移動中、階段踊場で足を滑らせ腰を強打、背骨を圧迫骨折。
- 現場巡回中、小石に躓き転倒した折、地面に手をつき、右手小指先を切断。
- 資材を両手で持ちながら階段を降りた際、鋼板の段差でつまずき右足首を捻り転倒、右足関節捻挫。
- 大工が 1 階床組み作業の準備中、玄関 C B 端部より足を踏み外して土間へ転倒、脇腹と顎を基礎立ち上がり部に打ちつけ頸部捻挫、顎打撲。
- 建方工が 3 階バルコニー一部で A L C 敷込作業中、アングルをつけ忘れた箇所に A L C を落とし込んでしまい 2 階へ落下、その際に身体を支えようとした手の指を脱臼。
- 現場監督が足場作業板上で外装検査のため軒裏を見上げて確認している際、上部に気を取られ足場隙間で転倒、床についた手の親指付根を骨折。
- 足場工が地上の足場入口付近で外し終えた防音シートの片付け作業中、後ずさりしながら引張り出す際、落ちていた足場ジャッキベースにつまずき後ろ向きに転倒、ヘルメットの上から後頭部を打ち脊髄圧迫。

- 大工が1階共用部にて1人で図面を確認しながら移動中、仮設電気BOXへの配線につまずき転倒、基礎の角に右肩を打ちつけ骨折、転倒時にランナーに接触して右耳を擦り裂傷。
- 基礎工が温熱シートを基礎内部に間配りするため、基礎天端に足をかけようとした際、足を踏み外し転倒、型枠固定用のサポーターで左手と左わき腹を強打、肋骨骨折。
- 荷揚工が共用屋内階段にて内装材出入枠を上階へ運搬するために階段昇降中、階段ささら部隙間開口部に足を踏み外し転倒、登り側の階段ささら部に胸部を打撲。
- 解体工が外部足場上で外壁仕上塗材のケレン作業のため移動中、外壁と作業床の間に左足を踏み外しバランスを崩して建物廊下側に身体ごと覆いかぶさる様に転倒、左足血管損傷、病院搬送後に挫滅症候群で死亡。
- 当日の作業終了後の工具類を両手に持ち、同一敷地内の駐車スペースに駐車している車へ移動中、誤ってプラスチック敷板上で右足を滑らせ後方に転倒し、その際、右足首を激しくひねり被災した。
- 建物内部、基礎土間コンクリート上で防水工事終了の後片付け作業中に、足元を確認していなかった状態で外壁際の排水ピットに足を突っ込み、躓いて転倒し左足首を損傷した。
- 3階建てハイツにて、屋内階段3階部分の最上段で躓き、3階共用廊下部に転倒し、右足膝部を捻った。
- 足場作業床(地面から高さ約1.2m)の下に潜り込みタイル割り付け作業後、そこから体を抜き出そうと、頭上の作業床に手を掛け、体重を後ろにかけた際、その作業床がずれバランスを崩し、後ろ向きに転倒、足場の単管に背中を強打し肋骨骨折。
- クレーンにてパレット上に積上げられた、4枚目の外壁吊込み作業中に、外壁下部を被災者が押さえていた際、吊り上げ途中の外壁に押され、後方へ転倒し、その際に右足を捻った。
- スケールを取ろうと、脚立から降りる際にバランスを崩し、横置きしてある軽鉄スタッド小口に手をついた。
- 作業移動中に道路段差で踏み外し受傷。
- 足場昇降設備から降りる際に生えていた草で足が滑って前かがみに転倒。
- 捨てコン上を歩行中、足を滑らせて転倒した際に地面に着いた手首を骨折した。
- 1階床組作業中に配管部材につまずき転倒、立上り基礎に膝を強打。
- 1階エントランスでサッシ入替作業中に未固定の大引き材に足を掛け転倒。
- ボード完了後の現場で下見、歩行中につまずき転倒。膝蓋骨骨折。

- 仮設トイレから出た所がぬかるんでおり左足を捻った。小指側面骨折。
- 玄関タイル養生材の上を歩行中にすべり、ポーチ部に転倒。右足首骨折。
- マンションリフォームでインナーサッシを荷台から降ろす時、荷崩れのため倒れてきて、頭他打撲・裂傷を負った。
- 建方（レッカー作業）中、吊り上げた壁パネルが揺れたため、支えようとし、足を滑らせ転倒、その時背中をホールダウン金物に打ち付けた。
- 建材を運搬中に、1階床と土間との高低差で踏み外し転倒、右足骨折。
- 補修道具を取りに敷地外の車に向かう際、敷地境界ブロック付近の障害物でつまずき、敷地内で転倒。
- 土台据え作業中、立ち上がり部分に足をかけていたところ、滑って左足の膝下をコンクリートにぶつけた。
- 土台据え作業中、ドリルで穴をあけ、ドリルを抜く際の反動でバランスを崩し、近くにあった他の材料に足が接触し着地に失敗、負傷した。
- 現場作業終了後、帰宅のため車に向かい敷地内移動中、片手にランタンを持った状態で氷に足を滑らせ転倒。
- 外部玄関階段高さ約 28cm から地面に降りる際に、左足を地面に埋まっている石に乗せてしまい、左足小指を負傷した。
- 水道配管用パイプを運搬中に排水パイプにつまずき転倒。右足首と背中を殴打。
- 現場近くの契約駐車場の柵を跨げず転倒、右肘靭帯損傷。
- 現場への荷運びの時、養生マットに滑り転倒。手をついて手首骨折。
- 基礎型枠施工のために、荷物を持ち移動中、左足首を捻り負傷した。
- 建方安全ネット作業終了後、2階床上作業中に転倒し腹部等を強打する。
- 家屋の点検作業の際、脚立のストッパーが外れ、右足を負傷。
- 基礎の施工中、型枠を運びながら段差を降りたところ、玄関先に設置した傾斜のある踏板の上で足を滑らせ手を着いた際、手首を痛めた。
- 休憩中、仮設トイレから出たところ、ステップ部分で足を滑らせバランスを崩した際、右ひざ裏の筋を痛めた。
- 基礎立上り打設完了後、型枠を超えて基礎の外に出たところ、足をついた場所が少し盛り上がっていたため、足を捻挫。
- 段差につまずき、あおむけに転倒。後頭部をアプローチ部分に打ち付けた。
- 室内移動中に材料につまずき転倒。受け身を取れず手首骨折。
- 転倒し、木材にあばらを強打し骨折。
- 土台敷完了後、構造材に括り付けた帯を外す際、足を踏み外して床上から地面に足を強く突き負傷。

- 道具の片付けを行っていたところ、玄関の段差付近にてつまずき転倒。左足を負傷。
- リビングから玄関に向かって歩き出した際、床板の上は何もない状態だったが転倒。
- 足場養生シートの紐を結んでいた時に足場に引っ掛かり、犬走に転倒した。
- 深基礎で土砂除去作業中、軸足が滑って体勢を崩し、型枠に右脇腹を強打、肋骨骨折。
- 玄関の段差につまずき、手に持っていた床養生材と共に倒れた折に左手をつき、手首骨折。
- シェルター工事で3階床ALC敷き込み作業中、後方に移動した際、ALC床未設置箇所の開口部に片足が落ち、バランスを崩し床梁にわき腹を強打し、右肋骨3本骨折、肺血気胸。

#### 災害分類<熱中症>の発生状況

- 現場事務所内で体調不良を訴え嘔吐、救急搬送されたところ熱中症診断。
- WBGT28.1・湿度70%の環境下、屋外での地盤調査終了後に熱中症の症状（手足に痺れ）が出たため、病院に行ったところ熱中症診断。
- 屋根上で瓦葺打ち作業中、体の引きつりがあり休憩テント内でOS1を摂取、自宅に送迎され病院を受診したところ熱中症診断。
- 左官仕上げ作業中に肩の痛みを感じたため水分を補給、その後休憩中に痙攣し意識を失ったが、意識が戻った後にも再度痙攣を起こした為、病院に搬送され熱中症診断。
- 基礎工が休憩を取りながら整地作業をしていたが、17:00頃、作業終了時に手がつるような感覚と声のかすれがあり回復しない為、病院へ搬送したところ熱中症診断。
- 建方工が荷受け作業中にお腹の調子が悪くなり、作業を中止して日陰で休憩していたが回復せず、その後帰宅、翌日病院で受診した結果、熱中症診断。
- 基礎工が型枠を手運び中、全身の痺れを感じ休憩したが改善されないため、救急車にて病院に搬送されたところ熱中症診断。
- 建方工が屋根下地工事作業中、10時の休憩頃から体調が悪くなり、車内で休憩をとっていたが回復せず、午後に病院を受診した結果、熱中症診断。
- 建方工事の小屋組み作業中、熱中症発症。
- 給水引き込み作業中、14:00頃本人から体調不良の申告があり、休憩所で休憩。様子を見たがろれつが回らない状態になり救急搬送。

- 外構作業中、周りの作業員が、体調不良に気付き、休憩所でOS1を摂取させた。緊急搬送要請中に痙攣発作した。
- 作業終了後、車を運転し帰宅途中、体調不良となり、救急搬送。
- 現場室内作業終了道具を片付けている最中、身体が痺れ作業場に座り込んでいたところ、他の作業員が気付き3次下請業者の代理人に報告して即時に救急搬送。
- 戸建て住宅の鋼管杭打設の現場内で杭の建込、測定等の作業中に、被災者が辛そうに見えたため、職長が休憩するように指示、早上がりさせようと呼んだ迎車に乗り込む準備をしていた際、腹部に痙攣を伴う痛み、手足のしびれを訴えたため救急搬送。
- 基礎の防湿コンクリート打設準備中、意識ははっきりしていたが、気分が悪くなり、吐き気を伴ったため工事担当者が病院へ搬送した。
- 内装工事中の室内リビングの天井クロスを施工しているときに、16:30に本人が息苦しさや左手の痙攣や顔のしびれを訴えて、アイシング・OS1を摂取して休憩を取らせていたが、症状が回復しないため救急搬送。
- 基礎工事現場にて、朝8時半頃から型枠設置の準備をし、9時頃に体調が悪くなり救急車を呼んで病院に運ばれた。点滴を打ち、体調は回復。扇風機+ミストを使用し、空調服を着用していたものの、連日の暑さで疲労がたまっていた。
- 石膏ボードの荷揚げ作業中、体調不良となり休憩したが回復せず救急搬送。
- 昼食後、休憩中足がこわばり始めて気分が悪くなった。
- 土台据え作業中、昼前に頭痛・吐き気の症状があり午後から自宅で休憩をしていたが症状が良ならず、夕方病院を受診し「熱中症」と診断された。
- 建方現場にて小屋組み作業中、具合が悪くなった。
- 夕方、足のしびれなど体調不良を訴え、救急車にて病院へ搬送され、脱水症状と診断された。
- 建方作業中に急に座り込みガラ袋に嘔吐。その後も吐き気・頭痛・めまいがした。
- 先行足場架け作業中、足場材を運んでいる時に腕がつり、その後もこまめに休憩を入れながら作業を行っていたが再度腕がつり、帰社後嘔吐した。
- 建方作業中に喉が痛くなり、夜発熱した。翌日、熱は無かったが受診し、PCRは陰性。軽い脱水症状と診断された。
- ボーリング標準貫入試験中、熱中症で気分が悪くなった。
- 基礎工事中に熱中症。
- 足場作業中に熱中症。
- 帰宅後、熱中症発生。

- 作業終了後、熱中症発生。
- 屋外給排水配管工事中に熱中症にて倒れ、搬送。
- 基礎工事中に熱中症発症。

#### 災害分類<その他>の発生状況

- トラック荷台から後ろ向きに降り、基礎の突出鉄筋を踏み負傷。
- 壁パネル組立中、14 尺パネルを単独で組付け、控えをとらないまま吊治具を外したため、壁パネルが倒れ下敷きになる。
- 勾配のある駐車場に車を止め荷下ろし中、車が動き出し、それを止めようとして車と塀の間に体を挟まれる。
- 組立中、脚立上で作業をしている時、仮置きしていた壁パネルが風で煽られ倒れ、脚立に当たり落ちる。
- クレーンで柱を吊上げ中、柱が滑り基礎と柱脚の間に手を挟まれた。
- 外壁のレベル調整作業時に、外壁下端を持ち上げようとして腰を痛み、腰椎捻挫。
- 石膏ボードを柱に立て掛けた際、立て掛けた弾みで石膏ボードが倒れ、フロアとボードに足を挟まれ、膝、足首打撲。
- トラックに積んだサッシをフォークリフトで架台ごと降ろす際、荷台の架台が不安定な状態となっていたため、近傍で作業中の被災者に倒れて下敷きになり、右足骨折。
- 立て掛けたボードが倒れてきたため、肩にぶつかり脱臼。
- 浴室工事作業で移動中に、段差で足を捻挫。
- 建物周りで雑草取りをしていた時、草むらの蜂の巣に気づかず、手の甲を刺された。
- 屋外排水工事中、掘削部の足元の地盤が崩れた折に左足が滑り、右足で前方に着地したところにガラがあり、足首をひねって足関節捻挫。
- 基礎工事で生コンクリート打設中、基礎内を移動する為に型枠上に乗って飛び降りた際、地面から出ていたガラを踏み右足裏を強打、足裏挫傷。
- 脚立上で梁を柱に載せる作業中、隣柱と梁受金物との間に右手小指が挟まれ骨折。
- 建方工が1 階土間上で脚立に上がり、1 人で2 階床梁のボルトを切断作業中、次のボルトを切断するため外部足場に移動する際、右肩が工具の重みに耐えられず、ひねり損傷。
- 職長の指示で荷揚職が2 階床脚立上で梁の設置補助中、梁接合金具と梁に右指を挟んで骨折。

- 仮設作業員が1人でユニック車を用いて不陸調整のため鉄板を浮かせた際、鉄板下に手が入り込んだ状況でフックが外れ鉄板が落下、左手甲を骨折。
- 外構工が一輪車で残土搬出作業している際、ダンプ荷台にかけた道板と地面との段差解消用のベニア板がずれてバランスを崩し、踏ん張ったが左手に荷重が掛かり肩を傷め、上腕腱断裂。
- 敷地南側から始めた鋼管杭工事最終日、北側寄りの場所において、職長オペは鋼管杭を回転注入中、また手元工被災者と三次作業員は、それぞれ打ち終わった杭頭レベル計測と天端調整中に、職長オペからは死角である打設中の鋼管杭頭部において、チャックに干渉するので開いていたクランプが振動で次第に閉じて行き、回転しているチャックに当たりそうになり、打ち終わった杭頭レベルを計測しながら打設中の杭頭部確認をしていた手元工被災者が、クランプが閉じてチャックに接触するのを防ぐ為、咄嗟に作業半径内に入り右手を入れてしまい、クランプと回転しているチャックの間に人差し指と中指を巻き込まれた。
- コンクリート打設完了箇所での型枠等清掃作業中、前日以前の降雨で基礎周り掘削部に溜まった雨水に、ベースのラス型枠からしみ出したセメントペーストが溶け込み、強アルカリ水状態になっていた所をスニーカーで作業していて、次第にスニーカー内部に強アルカリ水が侵入し、足の皮膚に化学熱傷が発生した。
- 仮設電柱引き込み柱（長さ5m、重さ約20kg）の建柱作業中、建柱用の穴（掘削深さ約1m）を事前に掘削し、いつもの慣れた作業の流れで柱先端部を掘削穴にあてがい、両手で抱え肩に預け徐々に起こしていった際、地面の整地状況等により突然身体のバランスを崩し、うまく掘削穴にポールが入って行かないまま、想定外に通常よりも長く肩に荷重が懸った為、突如背中に痛みが生じ被災した。
- 凍結している地面に物置・プロパン庫の型枠固定用栈木の下穴を大バールで開けていて、無造作に放ったバールで弾かれた栈木が跳ねて目に当たる。
- 2階建建物、4.5寸勾配の屋根上で、1人でカラーベスト（重さ約27kg）運搬作業時、屋根上にある高さ約45cmに設置された足場倒壊防止用の頭つなぎをまたいだ為、腰に負担が掛かり負傷した。
- 2名にて共同作業でパーティクルボードを2階から1階へ荷卸し作業中、2階の専任監督員から渡されるパーティクルボードを注視し、何回か同じ要領で卸していたので、手元・足元への注意は次第に疎かになっていった。災害発生時も前述の通り慣れてきた作業の流れの中、パーティクルボード

を受け取った瞬間、前方にバランスを崩し1歩2歩前に移動した。次の瞬間、パーティクルボードの下を持っていた左手小指を、3尺脚立の天端の間に挟み被災した。

- 業務用金庫の扉に指を挟まれた。
- 仮設足場タラップ設置時、ブラケットとタラップの間に右手親指を挟んだ。
- カーテンレール脱着時に左目に異物が入った。
- 雨水浸透トレンチ工事で堀山が崩れて下敷きになった。
- 移動中の家具を左足親指に落とす。
- 躯体の防蟻作業中、移動しようとした軒天ボード材が倒れ足を挟まれる。
- 石膏ボード搬入中、搬入路の傾斜につまずき足を捻る。
- 建方作業中、足場上で図面を見ながら外壁の耐力壁の施工の確認作業を行っていた際、足場の作業床と作業床との間に足が入り込み挟んだ。
- 屋根上でカラーベストを荷揚げ機で上げる作業を開始する直前、滑車とワイヤーの位置を直している時に誤って左手人差し指を挟み裂傷。
- 2階建方作業中、6尺の脚立上にて梁のジョイントが下がりきっておらず下かけやで叩くように指示をした際、別の実習生が下かけやの下に被災者の手があることに気付かず下かけやを引っ掛けてしまい負傷。
- 型枠解体作業時にハンマーのグリップがずれ抜け、当て木を支えていた左手中指に当たった。
- 建方作業中、2層目作業床にて大梁をアリに入れようと梁を持ち誘導していたところ、梁がストンと落ち込み、右手人差し指第一関節ぐらいまでの深さをカマとアリの間に挟んだ。
- 建方作業中、2階ベランダのバルコニー防水パンの上端を踏んで移動する際、バランスを崩して足を捻った。
- 基礎と外部マスの繋ぎ配管作業中、ホルソーの先が引っ掛かった為引き抜いた時に右手に持っていたインパクトドライバーのトリガーを引いてしまい、ホルソーを握っていた左手小指（手袋）がドライバー刃先に巻き込まれた。
- 足場一層目作業床で、破風板からはみ出ている軒天サイディングをサンダーでカットしている時、支えていた左手の人差し指を巻き込んでしまった。
- 土台据え作業中、前屈姿勢のまま材料を持ち上げ、ホールダウン金物をよけるために反り返って材料を置いた際、腰が抜けるような感覚と痛みが走った。



- 建物内 2 階で天井石膏ボード貼り作業、床養生作業、枠取付作業などを行っている際、徐々に腰が痛くなった。
- 床貼作業中、立て掛けていた石膏ボード 20 枚を移動させようと 1 枚目のボードを手前に引き寄せた際、他の石膏ボードが引っ付き、重ねてあったボードごと倒れ、左足首を負傷した。
- 移動の際、足場根がらみの上に左足を乗せた拍子に足を滑らせ、左足首を外側に捻った状態で足を地面に着いてしまった。
- 洗面化粧台鏡を梱包の段ボールから取り出す際に、左肩の腱を 2 本断裂した。
- 外壁パネル 1 番と 2 番のジョイント付近で、外壁パネル 2 番を設置する際に、外壁パネル 1 番と 2 番の間に指を挟み指を切った。
- 玄関土間にてドリルを使用し、土台材にホールダウンの穴をあけようとした際、ドリルが滑り右手薬指の甲を負傷した。
- 基礎ベース上で、断熱材施工後に立ち上がろうとした際、腰に強い痛みを感じ、立ち上がれない状態となった。
- 敷地内屋外地面にて移動中、左足を地面に着いた際、側溝の窪み上に敷いてあった段差のあるゴムマットに乗ってしまい、左足を捻ってしまった。
- レッカーにて石膏ボードを 2 階へ搬入し、着地した後に帯を取ろうとレッカーのフックを下げた際、フックの横の重りと石膏ボードの間に右手親指を挟み負傷した。
- 足場作業床 1 段目にて外壁材(30kg 程度)を荷揚げするため、下にいる作業員から外壁材を受け取ろうと両手で外壁材を掴んだ際、右肘に痛みを感じ掴んでいた外壁材を落とした。
- 玄関に発電機を置き 1 階リビング内部の床張り作業を行っていたところ、発電機からの排出ガスによって建物内が空気汚染状態になった。
- トラックに建て方道具などを積んで降りる際に右足を捻った。小指の骨折。
- 外構工事に伴う材料(桧、U字溝)を車両荷台から降ろす際に腰を捻る。
- 足場解体作業中、作業床と作業床の間に左手中指を挟んでしまった。
- 梁を間配りしている際、手を滑らせて梁材を左足甲に落下させて負傷した。
- 建方作業中、梁を手組みしていたところ、穴とボルトに指を挟まれる。
- 建方当日、足場の控えを片付けている際、転倒して背中を強打、腰を捻る。
- 仮設トイレをトラック荷台から降ろす際、足を滑らせて下敷きとなる。

- 内部電気工事作業中、同時進行の吹付工事が原因で一酸化炭素中毒となる。
- ダンプ荷台からドラム缶を下す際、自分の足の上にドラム缶を落とす。
- バイク走行で交差点を左折しようとした際、トラックと衝突した。
- 屋根工事業者が使用する荷揚げ用のスライダーを設置途中、最上部の梯子（1. 2m 程度）をロープで引き上げる為に足場に立て掛けていたところ、その梯子が倒れかかったのを阻止しようとしたガードマンの左肘に当たった。
- 脚立から降りたときに、部品を足で踏みつけ骨折。
- 上棟中、無理な体制で梁を受け、腰を痛める。
- 材料の梱包解中に荷崩れを起こし、体を挟んでしまった。
- 下請け職人間のトラブルを仲裁しようとしたところ、突然殴られ受傷。
- 基礎型枠組立て中、型枠に右中指を挟み打撲傷。
- 小屋梁を昇降階段から搬入している際に、右手を滑らせた。右手で掴み直した際、負傷。
- 外部階段 3 段下に飛び降り、かかとを骨折。
- 壁ボード施工中、石膏ボード運搬時に背中・腰に痛みを感じて作業ができなくなった。

会社名 \_\_\_\_\_

ご担当者名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

貴社の請負住宅および建売住宅のうち、3階建以下の戸建住宅・集合住宅工事において発生した災害（通勤災害を除く）で休業1日以上のものについて、ご報告ください。

貴社が、以下A～Fの団体に複数加入されている場合、夫々の団体から当調査用紙が配布されますが、報告書は工法別に集計して各団体へ返送して下さい。

**ご注意：①同じ報告書を複数団体へ提出しないようにお願いいたします。（工法別の集計報告書を、各々の団体に提出することはかまいません。）**

**②労働災害発生件数が0件でも完工棟数等をご記入のうえ、報告書をご提出下さい。**

（貴社が加入されている団体の労災発生率を調査するために、ご協力をお願いいたします。）

以下1～4の各質問にご回答ください。

1. 貴社加入団体（複数加入なら該当団体全てに○印を）

- A. プレハブ建築協会      B. 日本木造住宅産業協会      C. 日本ツーバイフォー建築協会  
D. 全国住宅産業協会      E. 輸入住宅産業協会      F. JBN・全国工務店協会

2. 当報告書の提出先団体（該当団体1つに○印を：同じ報告書を複数団体へ提出しないで下さい。）

- A. プレハブ建築協会      B. 日本木造住宅産業協会      C. 日本ツーバイフォー建築協会  
D. 全国住宅産業協会      E. 輸入住宅産業協会      F. JBN・全国工務店協会

3. まとめ（工法区分ごとに集計していれば工法ごとに記入して下さい。該当工法を○で囲んで下さい。）

工法記号(イ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ・ト・チ)

- イ. 木造在来軸組      ロ. ツーバイフォー      ハ. 木質プレハブ      ニ. 鉄骨在来  
ホ. 鉄骨プレハブ      ヘ. コンクリート在来      ト. コンクリートプレハブ      チ. その他(混構造等)

貴社の令和3年1月～令和3年12月の工事棟数  
(工法別)

ホ イ ・ ・ 工 法 ト ハ ・ ・ チ ニ	新築工事 年間 完工棟数	棟
	増改築・リフォーム 年間 完了件数	件
	解体工事 年間 完了件数	件

貴社の令和3年1月～令和3年12月の工事棟数  
(工法別)

ホ イ ・ ・ 工 法 ト ハ ・ ・ チ ニ	新築工事 年間 完工棟数	棟
	増改築・リフォーム 年間 完了件数	件
	解体工事 年間 完了件数	件

貴社の令和3年1月～令和3年12月の  
労働災害発生件数(上表工法分)

労働災害 年間 総発生件数 (休業日数 1日以上)	件
---------------------------------	---

貴社の令和3年1月～令和3年12月の  
労働災害発生件数(上表工法分)

労働災害 年間 総発生件数 (休業日数 1日以上)	件
---------------------------------	---

- ・労働災害年間発生件数無しの際は0件とご記入ください。
- ・集合住宅は戸数ではなく棟数にてご記入ください。

4. 労働災害年間総発生件数内訳（休業1日以上）

\*別紙の労働災害年間総発生件数内訳(休業1日以上)報告書に記入して下さい。用紙が足りない場合はコピーしてご使用下さい。

\*工法ごとに集計している場合は、1工法1用紙にご記入下さい。

\*別添の「労働災害分類番号一覧表」ならびに 報告用紙No.2に記載した記入例を参照してご記入ください。

以上

令和3年1月～令和3年12月低層住宅労働災害発生報告書（戸建住宅・低層集合住宅 No.2  
労働災害年間総発生件数内訳(休業1日以上)報告書

会社名

当用紙を工法区分ごとに集計している時は以下の工法区分の一つに○を付けて下さい。

- イ. 木造在来軸組      ロ. ツーバイフォー      ハ. 木質プレハブ      ニ. 鉄骨在来  
ホ. 鉄骨プレハブ      ヘ. コンクリート在来      ト. コンクリートプレハブ      チ. その他(混構造等)

※記入欄が足りない場合は、同じ書式で別紙にご記入下さい。

No	災害発生日時			被災者 区分	年 令	性 別	作業 分類	職種 分類	災害 分類	工法 区分	工事 種別	休業日数別					
	月・日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡
1	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
	車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況:													
2	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
	車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況:													
3	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
	車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況:													
4	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
	車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況:													
5	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
	車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況:													

※記入例

No	災害発生日時			被災者 区分	年 令	性 別	作業 分類	職種 分類	災害 分類	工法 区分	工事 種別	休業日数別					
	月・日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡
記入例 ①	6・19	木	16:00	1	45	1	6	4	13	イ	2		○				
	災害分類: 90. その他 記入欄			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況: 外壁張替え作業中に足をすべらせて2階作業床から転落。														
記入例 ②	7・25	金	10:30	1	32	1	1	1	80	ハ	3		○				
	災害分類: 90. その他 記入欄 プライヤーで指を潰す。			作業分類: 13. その他 記入欄			職種分類: 26. その他 記入欄		墜転落: 19. その他 記入欄			切れ・こすれ: 29. その他 記入欄					
車両系建設機械: 36. その他 記入欄			発生状況: 鉄板をプライヤーではさんで引きはがそうとし、はさむ時に指を潰してしまいました。														

令和3年1月～令和3年12月分調査 労働災害分類番号一覧表

被災者区分	1. 労働者（日本人）	2. 労働者（外国人）	3. 中小事業主	4. 一人親方	性別	1. 男	2. 女
-------	-------------	-------------	----------	---------	----	------	------

作業分類	1. 解体	2. 基礎	3. 足場	4. 建方	5. 屋根	6. 外部造作	7. 内部造作
	8. 外装	9. 内装	10. 設備	11. 外構	12. 加工場	13. その他（作業を記入）	

職種分類	1. 解体	2. トビ足場	3. 基礎		4. 大工	5. 防蟻	6. 板金	7. スレート
	8. 瓦	9. 防水	10. コーキング		11. 左官	12. サイディング		13. タイル
	14. 塗装	15. クロス	16. 建具		17. タタミ	18. 電気	19. 給排水	20. ガス
	21. 空調	22. 造園	23. 現場監督		24. 納材	25. 産廃	26. その他（職種を記入）	

災害分類 (型・起因)	墜転落	11. 屋根	12. 梁		13. 足場	14. 開口部	15. ハシゴ	16. 脚立
		17. 脚立足場	18. 車荷台		19. その他（記入してください）			
	切れ・こすれ	21. 丸ノコ	22. 釘打機		23. 金槌	24. ノミ	25. 木材加工機	26. パール
		27. カッター	28. グラインダー			29. その他（記入してください）		
	車両系建設機械	30. クレーン	31. ドラグショベル(ユンボ)			32. ハンドガイドローラー	33. ランマー	
		34. ユニック車	35. トラック		36. その他（機械名を記入してください）			
	40. 激突							
	50. 激突され							
	60. 飛来落下							
	70. 転倒							
80. 熱中症								
90. その他（型・起因を記入してください。表現は用語等を気にせずに記入してください。かまいません。）								

工法区分	イ. 木造在来軸組	ロ. ツーバイフォー	ハ. 木質プレハブ	ニ. 鉄骨在来
	ホ. 鉄骨プレハブ	ヘ. コンクリート在来	ト. コンクリートプレハブ	チ. その他（混構造等）

\* 型式適合認定工法以外は、イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ニ. 鉄骨在来 ヘ. コンクリート在来 チ. その他（混構造等）の中から選択してください。

工事種別	1. 新築	2. 増改築・リフォーム	3. 解体
------	-------	--------------	-------